

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。

大阪ガス

ガスふろ給湯器バックイン

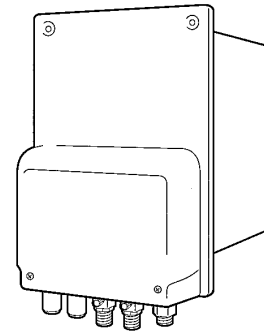
BL 認定品

131-7059 型
131-7069 型

型式名：HOL-1670AQ
HOL-1670AQ-L

取扱説明書

保証書別添



⚠ 危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。

5101614000

EI-01



51016140

もくじ

はじめに	1
安全のための注意	
必ずお守りください	2
各部の名前とはたらき	
機器本体とお湯まわり	10
リモコン	11
漏電ブレーカー	14
シャワーセット	15
準備してください	
初めて使うとき	17
時計を合わせる	18
給湯を使うとき	
お湯を使う	19
給湯温度を変える	21
優先スイッチの使いかた	23
お風呂を沸かすとき	
自動運転のはたらき	24
自動運転でお風呂を沸かす	25
ふろ設定温度を変える	27
ふろ設定水位を変える	28
お風呂沸かしのコツ	29
保温時間を変える	30
お風呂をあつくする	31
お風呂をぬるくする	33
お風呂のお湯をひやす	34
決めた時刻にお風呂を沸かす	35
予約時刻の変更をする	37
予約運転をやめるとき	38
予約運転のコツ	39
セルフクリーニング機能	40
その他の機能	
音声やメロディの大きさを調整する	41
浴室から人を呼びたいとき	43
凍結予防	
通常の寒さのとき	44
冷え込みが厳しいとき	45
長期間使用しないとき	47
再び使用するとき	50
点検・お手入れ	
点検のポイントとお手入れ	51
故障かな？と思ったら	
修理を依頼される前に	53
こんな場合は故障ではありません	54
エラー表示	56
仕様	
仕様	57
サービス	
アフターサービスについて	58

はじめに

本書の使いかた

初めてお使いになるときには、ひと通りお読みください。
使いかたが分からなくなったときなどは、表紙の「もくじ」から該当する項目を探して、そのページをご覧ください。

本書の構成

本書は、以下の11の項目から構成されています。
(※表紙に「もくじ」を設けてあります。)

- 安全のための注意 本品を使用する上での注意事項を記載しています。機器をお使いになる前に、必ずお読みください。
- 各部の名前とはたらき 機器本体、リモコン・シャワーセットなどの各部の名称と機能を記載しています。
- 準備してください 最初にお使いになる際にしていただきたい内容を記載しています。
- 給湯を使うとき 水栓やシャワーでお湯を使う場合の操作方法を記載しています。
- お風呂を沸かすとき 自動でお風呂を沸かす基本的な使い方から、予約運転でお風呂を沸かす、ちょっとすすんだ使いかたまで、お風呂沸かしについての操作方法を記載しています。
- その他の機能 リモコンの付加的な機能を記載しています。
- 凍結予防 冬期など寒い時期に機器および付帯設備の凍結を予防するための方法を記載しています。長期間ご使用にならない場合にもお読みください。
- 点検・お手入れ 快適に長く機器を使用していただくためにお客様にしていきたい、点検とお手入れの方法を記載しています。
- 故障かな?と思ったら 症状別の対処方法や、エラー表示に関する情報を記載しています。機器の調子が変だなと思ったらお読みください。
- 仕様 機器の仕様と能力を記載しています。
- アフターサービス アフターサービスを依頼される場合のご注意や、保証、機器の修理・移設に関するお知らせを記載しています。

本書で使用する絵表示について

- 参照ページおよび参照箇所
- 用語説明
- 仕組みの説明
- 使いかたのヒント

※安全にお使いいただくためのご注意に関する絵表示については、次ページを参照してください。

必ずお守りください

安全のための注意

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる危害・損害の程度を次のように区分しています。お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容は下図の通りです。よく理解して正しくお使いください。

危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事柄を示しています。

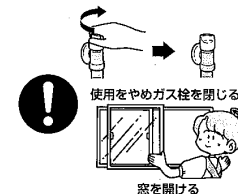
絵表示の意味

- 一般的な危険警告注意
- 火災注意
- 高温注意
- 感電注意
- 一般的な禁止
- 触れるな
- むれ手禁止
- 分解禁止
- 火気禁止
- 必ず行うこと
- 電源プラグをコンセントから抜く
- 必ずアース線を接続せよ

危険

ガス漏れ時の処置

- すぐに使用をやめガス栓を閉じ、窓や戸を開けてから、販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 係員が処置するまでは、電気製品（換気扇など）のスイッチ操作や電源プラグの抜き差し、マッチ・ライターなどの使用は絶対にやめてください。周辺の電話も使用しないでください。火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火を使ったり漏電ブレーカーの抜き差し禁止



電気器具（換気扇など）のスイッチの「入・切」禁止



ガスのおいでの場所での電話の使用禁止



必ずお守りください

安全のための注意

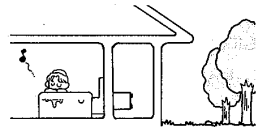
⚠ 危険

屋内に設置しない

- この機器は壁貫通型です。屋内に設置しないでください。また、給気口、排気口は屋外に面した壁面の外に出るようにしてください。
- 正常な給排気ができないための異常燃焼や、室内に燃焼排ガスが充満することによる一酸化炭素中毒の原因となります。



屋内設置禁止

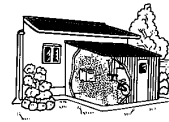


囲い禁止

- 増改築などによって機器本体や排気口を屋内の状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしないでください。
- 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、火災の原因となり大変危険です。



囲い禁止



⚠ 警告

ガスの種類と電源を確認

- 機器前面の、下図に示す位置に銘板を貼付してあります。
- 銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）を確認してください。銘板に表示のガス、電源以外では使用しないでください。



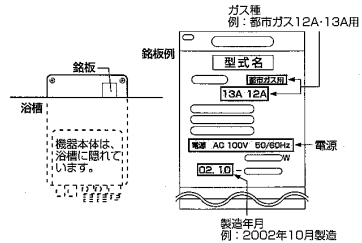
铭板確認

異なるガスや電源で使用する、爆発点火や不完全燃焼により、一酸化炭素中毒や火災、機器破損の原因となります。

不明な点はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

移設や移転の場合は、販売店／転居先のガス事業者（供給者）へご相談ください。

📖 P58 「サービスを依頼される時」



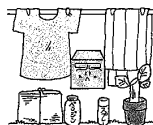
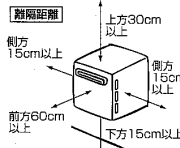
火災・爆発予防のために

- 排気口および機器は、周辺のものとは常に下図の離隔距離を確保してください。
- 給気口・排気口・給排気トップの周囲には燃えやすいもの、加熱されてこまるもの（木材、紙、洗濯物、植物、ペットなど）を置かないでください。火災など、思わぬ事故の原因となります。
- 給気口・排気口・給排気トップの周囲には、引火しやすいもの（ガソリン、ベンジン、灯油など）やスプレー缶を置いたり使用したりしないでください。

火災など、思わぬ事故の原因となります。



可燃物禁止



⚠ 警告

給気口・排気口の前方に物を置かない

- 給気口・排気口・給排気トップの前方に物を置かないでください。
- 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災の原因となります。



異常時の処置

- 異常燃焼（排気口から煙が出る）、臭気、異常音、水漏れなどに気づいたときは、すぐに使用をやめ、下記の処置をして、販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

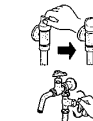
1 運転スイッチを「切」にする



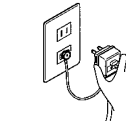
2 給湯栓・シャワー栓を閉じる



3 ガス栓・給水元栓を閉じる



4 漏電ブレーカーを抜く



- 地震、火災など緊急のときも同様に処置してください。

※これはガスが漏れたときの処置方法ではありません。ガス漏れに気づいたときは...

📖 P2 「ガス漏れ時の処置」

工事は資格必要

- この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店に依頼してください。



分解禁止

- お客さまご自身では、機器やリモコンを分解したり、修理・改造はしないでください。感電やけが、故障の原因となります。



分解禁止

お湯を使うときはやけどに注意

- お湯を使うときは給湯温度表示を確認し、必ず手で湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。



- 以下の場合には、一瞬熱いお湯が出る場合がありますので、出始めのお湯は体にかけないでください。特に小さなお子様には一人でお湯を使わせないでください。

- ・お湯を一度止めて再度使用するとき

- ・高温のお湯を使った直後

- ・湯量を急に少なくした場合

- ・おいだき運転終了直後

- ・夏期など水温の高い時期にお湯を少しだけ使おうとした場合

- ・トイレの水を流すなどして、給水圧が変化した場合

- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水でびっくりすることがあります。

- 給湯栓で湯量をしばらくすると、熱いお湯が出たり、水になったりします。特に水温が高いときは、給湯温度を低くしても湯量が少なく熱いお湯が出る場合があります。こんなときは湯量を増やさず、水と混ぜてお使いください。

- 給湯使用中はシャワーセットや水栓本体が熱くなりますので、やけどにご注意ください。



必ずお守りください

安全のための注意

警告

優先スイッチ使用時のご注意 (リモコンを2個設置しているお宅の場合)

- 優先スイッチを使用する場合、他の人がお湯を使用していないか確認してください。
優先を切り替え給湯温度が変更されると、思わぬ熱いお湯が出てやけどをしたり、冷水でびっくりするなど、思わぬ事故やけがの原因となります。
- 優先を切り替えたときには、必ずリモコンで給湯設定温度を確認してください。
温度が変わっていることがあります。



お子様に対する注意

- 浴槽の循環アダプター付近でもぐったりしないように注意してください。
思わぬ事故の原因となります。
- 浴室で遊ばせないでください。
お風呂を沸かしているときなど浴槽に水のある場合は特に、浴槽に落ちておぼれるなど思わぬ事故の原因となることがあります。
- 一人でお湯を使わせないでください。
思わぬ事故の原因となります。

お風呂沸かしをしている時のご注意

- 浴槽のふたは蒸気でやわらかくなることがあります。ふたの上に乗ったり、手をついたりしないでください。
おぼれたり、やけどをすることがあります。

入浴するときはやけどに注意

- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。
浴槽内のお湯の上下に温度差が生じることがありますので、お湯を十分にかきまぜてから確認してください。
- 追いだきときは循環アダプターが熱くなったり循環アダプターから熱いお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。



温度確認



高温注意



入浴時のご注意

- 浴槽にもぐらないでください。
思わぬ事故の原因となります。

注意

給気口・排気口・排気筒トップに 指や棒を入れない

- 給気口・排気口・排気筒トップに指や棒を入れないでください。
けがや故障の原因となります。

排気口でのやけどに注意

- 使用中、使用直後は排気口とその周辺は高温になりますので、さわらないでください。



接触禁止

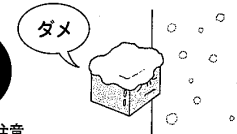
注意

排気口をふさがない

- 積雪や屋根から落ちた雪などで給気口・排気口・排気筒トップがふさがらないようにご注意ください。
雪でふさがれると、故障の原因となります。こんなときは…
P58「サービスを依頼されるとき」



機器への積雪注意



つららに注意

- 冬期は特に、排気口・排気筒トップの下に立ち入らないでください。
積雪時の雪解け水や排気中の水分が凍結して、つららとなって落下してけがの原因となります。

無理な力を加えない

- シャワーセットの出湯管にぶら下がったり、タオルをかけたりしないでください。
けがや故障の原因となります。

機器に乗らない

- 機器本体や付帯設備の上に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。
けがや故障の原因となります。機器に無理な力が加わると、破損や故障の原因となります。

高温のお湯を水と混ぜて使うとき

- やけど防止のため、お湯を出すときは先に給水栓を開け、次に給湯栓を開けてください。お湯を止めるときは先に給湯栓を閉じ、次に給水栓を閉じてください。(混合水栓タイプの場合)

リモコンの取り扱いに注意

- 台所リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。
故障の原因となります。
- 子どもがいたずらしないよう、注意してください。
- 炊飯器、電気ポットなどの蒸気や温風をあてないようにしてください。
故障の原因となります。

電気事故防止のために

- この機器はアースが必要です。アース線がアース端子に接続されているか確認してください。アース端子がない場合は有資格者によるアースの取り付けが必要です。
P14「漏電ブレーカー」
- 火災や感電事故防止のため、漏電ブレーカー・電源コードは下記の点に注意して使用してください。
 - ・漏電ブレーカー・電源コードを加工したり、破損させたりしない。
 - ・漏電ブレーカー・電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたり、束ねたりしない。
 - ・漏電ブレーカーは根元まで確実に差し込む。
 - ・傷んだ漏電ブレーカー・電源コードは使用しない。
 - ・漏電ブレーカーはぬれた手でさわらない。
 - ・漏電ブレーカーを外す必要のあるときは、コードを引っばらないで、漏電ブレーカー本体をもって抜き差しする。
 - ・漏電ブレーカーのコンセント差込部の刃および刃の取付面にほこりがついているときは乾いた布でふきとる。



感電注意



必ずお守りください

安全のための注意

⚠ 注意

他の機器との接続について

- この機器をソーラー（太陽熱温水）システムに接続しないでください。
高温のお湯が出てやけどをすることがありますのでご注意ください。

用途について

- 台所、洗面所、浴室などの給湯やシャワーおよびおふる沸かし以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故の原因となります。
- 出湯管にホースをつながないでください。
機器が破損することがあります。



接続禁止

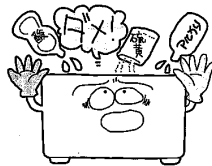
お願い

入浴剤や洗剤などについて

- 硫黄、酸、アルカリ、塩を含んだ入浴剤や洗剤、また沈殿物が生じるような入浴剤は使用しないでください。
熱交換機の腐食や故障の原因となります。
異常に気づいたときはすぐに使用をやめてください。
- 泡の出る入浴剤は使用しないでください。
使用した場合、循環不良となりおふる沸かしができません。
- 入浴剤や洗剤は、その商品の注意文をよく読んでご使用ください。
- 給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯のなかに溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、よくすすぐと発色しにくくなります。



入浴剤注意



薬品や洗剤などに関するご注意

- 塩素系のカビ洗浄剤、酸性の浴室用洗剤、塩素系または酸性の消臭剤、塩などが機器やガス管などにかかったときは、すぐに十分に水洗いをしてください。
思わぬ事故や故障の原因となります。

リモコンはテレビやラジオから遠ざけてください

- テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。
音声や画像が乱れることがあります。

お願い

シャワーの取り扱いに注意

- シャワーヘッドを浴槽やシンク、洗面器の中に浸けたまま放置しないでください。
断水時など水圧が弱くなった場合に、機器内に逆流するなどして思わぬ故障の原因となることがあります。

断水時のご注意

- 断水すると使用できません。使用中に断水すると停止します。「おいだき運転」は使用できません。
- 給湯栓や給水栓を開けたままにしておくと、水の供給が復帰したときに、水が流れたままになります。ご注意ください。
- エラー表示が出ることがあります。「運転」を「切」にして再度「入」にし、水の供給が復帰するまでお待ちください。
P56「エラー表示」
- 水の供給が復帰したら、出始めの水は使用せず、十分に水を流してから使用してください。
断水中の給水配管内には、飲用や調理用に適さない水が留まっていることがあります。

停電時のご注意

- 停電すると使用できません。使用中に停電すると停止します。
- 給湯中に停電するとお湯が氷になります。ご注意ください。
- 電力の供給が復帰したときに、現在時刻が遅れていたたり、給湯温度設定が変わっていることがあります。表示を確認して、必要に応じて調節してください。
- 冬期など凍結のおそれがある場合は、水抜きをしてください。

停電すると凍結予防ヒーターが動かなくなり、通常の寒さでも機器内の水が凍結して、破損事故・水漏れ故障の原因となることがあります。

P47-49「長期間使用しないとき」

循環アダプターをタオルでふさがない

- 浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがないでください。
循環不良でおふる沸かしができません。
- 浴槽内でタオルを使ったり、衣類やペットなどを洗わないでください。
毛や糸くずが吸い込まれて機器故障の原因となります。

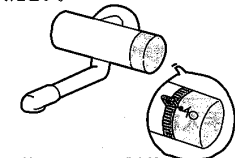


循環アダプターをふさがない



水栓について (給湯配管されているお宅)

- 水栓にはいろいろな種類があります。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。お湯の温度が不安定になります。
- サーモスタット式水栓をご使用の場合はリモコンの給湯温度はご希望の温度（ハンドルの温度）より高めにしてください。



サーモスタット式水栓

必ずお守りください

安全のための注意

お願い

電源を切らない

- 長期間ご使用にならない場合以外は、漏電ブレーカーをコンセントから抜いたり、分電盤のブレーカーを落としたりしないでください。冬期は特に、電力の供給が断たれると凍結予防ヒーターが作動しなくなり、凍結などの故障の原因となることがあります。

雷時の注意

- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

冬期または長期間使用しないとき

- 冬期は凍結予防をしてください。
□ P44-46 「通常の寒さのとき」「冷え込みが厳しいとき」
- 長期間使用しないときは水抜きをしてください。
□ P47-49 「長期間使用しないとき」

適合する別売品以外は使わない

- この機器に適合する別売品以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。

一般家庭用製品です

- 業務用途のような使用頻度の高い使いかたをすると機器の寿命を短くします。

お手入れの際の注意

- お手入れは機器が冷めてから行ってください。
- けがには十分ご注意ください。
- 機器やリモコンを洗剤、ベンジン、シンナーでふいたり、タワシなど固いものでこすらないでください。
- 浴槽、洗面台はこまめに掃除して清潔にお使いください。

日本国内向けです

- 海外での設置および使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。この場合は当社では責任を負いかねます。



国内のみで使用

井戸水・地下水について

- 井戸水や地下水は、水質によっては機器を腐食させる恐れがあります。井戸水や地下水を使用しないでください。

排気口の周囲

- 植物やペットなど、排気口からの排気によって加熱されると困るものは、排気口の周囲に置かないでください。

排気について

- 排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たるとガラスが割れたり、変色する原因になりますのでご注意ください。

飲用に使うときは

- 機器内に長時間たまった水や朝一番にお使いのお湯は、飲んだり調理に用いないで、雑用水としてお使いください。

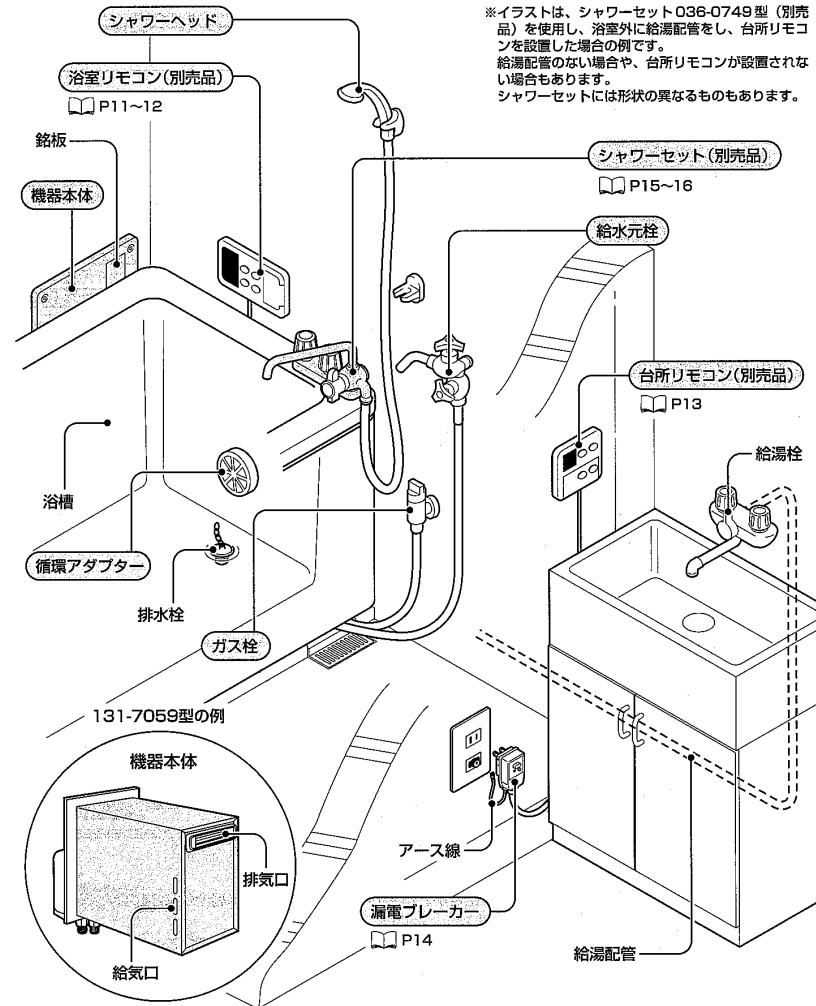
点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火をリモコンの表示で確認してください。

機器本体とお湯まわり

各部の名前をはたらき

機器各部の名前と、機器本体・リモコンの取り付け位置を確認してください。



リモコン

リモコンの各部の名前を確認してください。
表示部は実際の運転状態を示すものではありません。

浴室リモコン 138-0051 型 (別売品)

給湯温度スイッチ P21~22
給湯温度を調節します。

ふろ温度スイッチ P27
自動運転のお風呂のお湯の設定温度を調節します。

おいだきスイッチ P24・29・31~32・47~48
浴槽のお湯をあつくします。

運転スイッチ P18~
「入」にすると、給湯できます。お風呂を沸かし
たり、各スイッチの操作をする場合も「入」に
します。もう一度押し
と「切」になります。

表示画面 P18~

呼び出しスイッチ P43
台所リモコンから「呼び出し音」を鳴らします。

自動スイッチ P24~26・29・31~32・38・40
「自動運転」を行います。

音量スイッチ P41~42
リモコンの発する音の大きさを調節します。

保温時間スイッチ P30
自動運転のときのお風呂のお湯の
保温時間を調節します。

湯量スイッチ P28
自動運転のお風呂のお湯の量を調節します。

たし湯スイッチ P34
お風呂にお湯を足します。

ぬる湯スイッチ P33
お風呂に水を足します。

時刻設定スイッチ P18・35~37
現在時刻、予約時刻
を調節します。

(フタが開いた状態)

ふろ予約スイッチ P35~38
「予約運転」を行います。

優先スイッチ P23
どちらのリモコンで給湯温度を
変更できるかを切り替えます。

スピーカー P43

●スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聞こえにくくなります。
スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。



リモコン操作時のご注意

- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。
- 操作確認音・お風呂への湯はり完了の音楽は、 2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。この設定は各リモコン別々にできます。ただし、正しい操作が行われなかったときに音声が消すことはできません。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

浴室リモコン表示部

ふろ運転表示部

予約表示 P35~38
予約運転中に表示されます。

ふろ燃焼表示 P25~26・31~32

注水表示 P33
ぬる湯運転中に表示されます。

注湯表示 P34
たし湯運転中に表示されます。

水位表示 P25~26・28・35
自動運転の水位のめやすを表示します。

ふろ温度表示 P25~27・35
自動運転やたし湯の設定温度を表示します。

給湯運転表示部

優先表示 P19~23

この表示が点灯している側のリモコンのみ給湯温度が変更できます。
(138-0047型にはありません。また、138-0051型を使用する場合でも、台所リモコン 138-0050型を設置していない場合は、点灯しません。)

給湯燃焼表示 P19~20・25~26・34

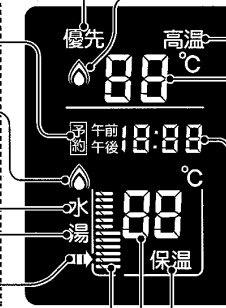
高温表示 P22
給湯温度が60℃以上に設定されているときに表示します。

給湯温度表示 P19~22
給湯の設定温度を表示します。

時刻表示 P18・30・35~37・39
エラー表示 P29・49・56

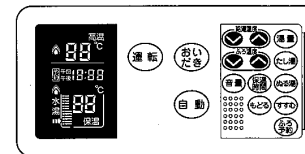
現在時刻を表示します。予約運転設定時には、予約運転開始時刻を表示します。
機器や使用方法に不具合があった場合には、エラーコードを表示します。

保温表示 P25~26・29~30・36



●このリモコンは運転スイッチが「切」のときには、画面表示がすべて消灯します。

浴室リモコン 138-0047 型 (別売品)



(フタが開いた状態)

※優先スイッチ・呼び出しスイッチがない以外、スイッチの名称・はたらきは138-0051型と同じです。
表示部は、優先表示が点灯しない以外は、138-0051型と同じです。



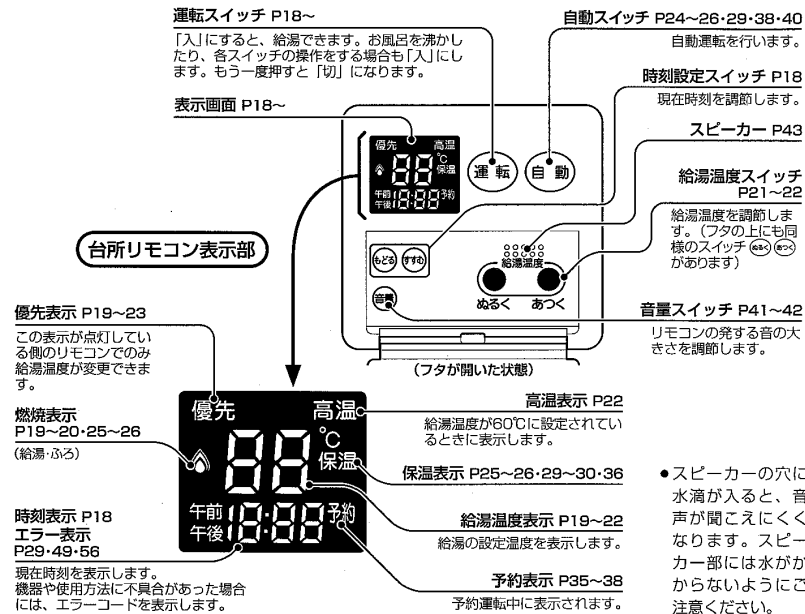
リモコンについて

- 各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。
- 浴室リモコン 138-0047型をご使用の場合には、台所リモコンは設置できません。

リモコン

各部の名前とはたらき

台所リモコン 138-0050 型 (別売品)



リモコン操作時のご注意

- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。
- 操作確認音・お風呂への湯はり完了の音楽は、(ON/OFF) 2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。この設定は各リモコン別々にできます。ただし、正しい操作が行われなかったときに音声が消すことはできません。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。



リモコンについて

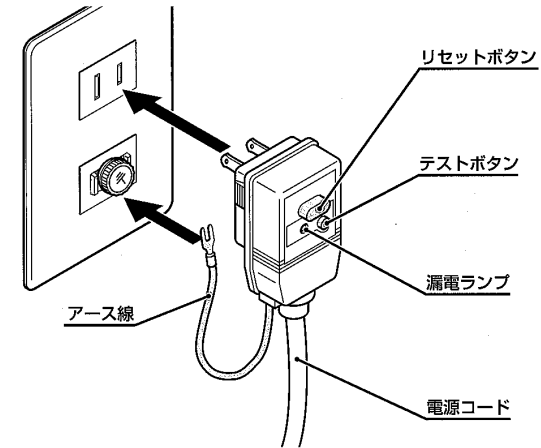
- 各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。
- 浴室リモコン 138-0047 型をご使用の場合には、台所リモコンは設置できません。

漏電ブレーカー

各部の名前とはたらき

漏電ブレーカーの各部の名前を確認してください。
感電事故防止のため、取り扱いには注意してください。

📖 P6 「電気事故防止のために」



作動確認をしてください

●機器に付属の漏電ブレーカーは、安全のため月に1度程度、作動確認をしてください。

- ① 漏電ブレーカーがコンセントに差し込まれていることを確認します。
- ② テストボタンを押し、漏電ランプが点灯すれば正常です。
- ③ リセットボタンを押して作動確認を終了します。漏電ランプが消灯します。

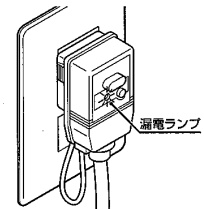


作動確認



もし、漏電ランプが点灯したら…

- 機器本体に異常が見られない場合、漏電ブレーカーのリセットボタンを押してください。
- 機器本体が水に浸っている場合、排水口の掃除をするなど冠水の原因を取り除き、水がひくのを待って、漏電ブレーカーのリセットボタンを押してください。
上記の操作をしてもなお漏電ランプが点灯するようであれば、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。



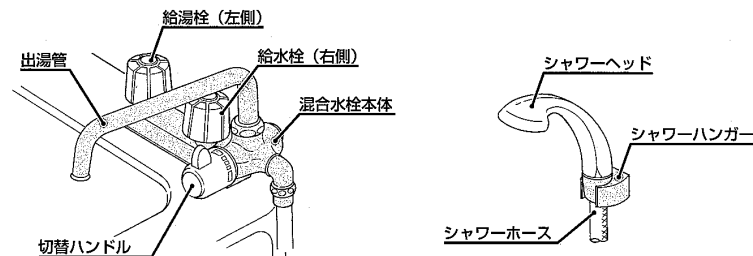
シャワーセット

各部の名前とはたらき

お使いのシャワーセットにより、各部の名前や使いかたが一部異なります。
お客さまがお使いのシャワーセットを確認してください。

シャワーセット 036-0748 型 / 036-0749 型 (別売品) - 混合水栓タイプ

下図は、036-0749 型 (右タイプ) を示します。
スコールシャワータイプの 036-0758 型や 036-0757 型もあります。



右にまわすと出湯管から出湯し、左に回すとシャワーから出湯します。ハンドルの突起を中央付近に合わせることで一時的に止水できます。(一時止水機能)

※シャワーセットの取り扱いおよび取り付けについては、シャワーセットに同梱の取扱・設置工事説明書をお読みください。

シャワーセットの使いかた 【お湯 (水) の出しかた / 止めかた】

- ① 切替ハンドルを回して、出湯 (水) 先 (出湯管 / シャワー) をきめます。(右に回すと出湯管、左に回すとシャワー)
- ② お湯を出す場合は給湯栓を、水を出す場合は給水栓を左に回すと、出湯管 (またはシャワー) から出湯が出てきます。
- ③ お湯 (水) を使います。
- ④ 一時的にお湯 (水) を止める場合には、切替ハンドルの突起を中央付近に合わせます。
- ⑤ 使用後は、給湯栓 (給水栓) を右に回して、お湯 (水) を止めます。

※ お湯を使う際には、必ず、出湯先を確認してください。思わぬところからお湯が出て、やけどをしたり、びっくりすることがあります。

※ 給水圧力が低く、十分な湯量が得られないときは、お湯と水を混ぜて使用することをお勧めします。この場合、給湯温度は 60℃、給湯栓はほぼ全開で使用してください。

※ お湯と水を混ぜて使うときには、必ず、水を先に出してから、給湯栓をあけてお湯をだしてください。お湯を先に出すと、思わぬあついお湯がでてやけどをしたり、びっくりすることがあります。

※ お湯 (水) を使わない場合には、給湯栓 (給水栓) を閉めて、お湯 (水) を止めてください。切替ハンドルの一時止水機能は、少しの間お湯 (水) を止めておくためのものです。

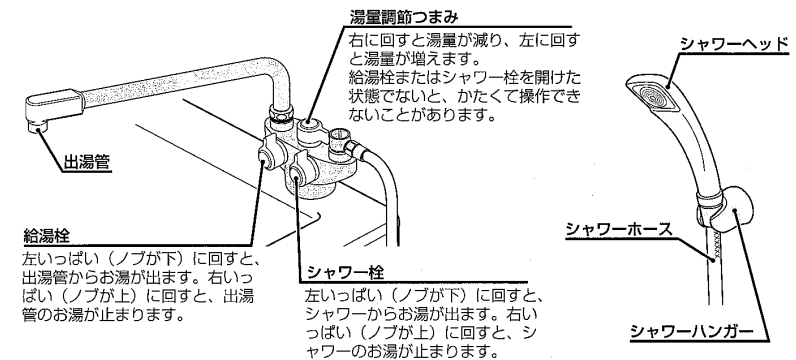
※ リモコンの運転を「切」の状態でお湯 (水) を使用する場合は、必ず給水栓側を開けて水を使用してください。給湯栓を開けて水を流すと、機器内が結露して点火不良や故障の原因となります。



高温注意

シャワーセット 036-0740 型 / 036-0741 型 (別売品) - 単水栓タイプ

給湯栓・シャワー栓は、設置状態により逆になる場合があります。



湯量調節つまみ
右に回すと湯量が減り、左に回すと湯量が増えます。
給湯栓またはシャワー栓を開けた状態でないと、かたくて操作できないことがあります。

給湯栓
左いっぱい (ノブが下) に回すと、出湯管からお湯が出ます。右いっぱい (ノブが上) に回すと、出湯管のお湯が止まります。

シャワー栓
左いっぱい (ノブが下) に回すと、シャワーからお湯が出ます。右いっぱい (ノブが上) に回すと、シャワーのお湯が止まります。

※シャワーセットの取り扱いおよび取り付けについては、シャワーセットに同梱の取扱・設置工事説明書をお読みください。

シャワーセットの使いかた 【お湯の出しかた / 止めかた】

- ① 出湯管からお湯を出す場合には給湯栓を、シャワーからお湯を出す場合にはシャワー栓を、左一杯に回してお湯を出します。
- ② 湯量調節つまみを回して、お湯の量を調節します。
- ③ お湯を使います。
- ④ 使用後は、出湯栓 (またはシャワー栓) を右いっぱい (ノブが上) に回して、お湯を止めます。

※ 給湯栓・シャワー栓は、いっぱい (ノブが上) に回して使用してください。中間位置では使用しないでください。



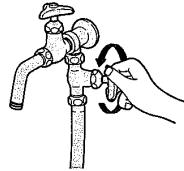
高温注意

初めて使うとき

準備してください

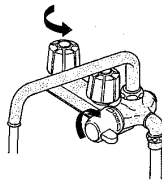
初めて使うときは、次の準備が必要です。

① 給水元栓を全開にする。

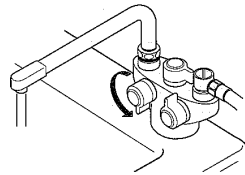


② 水の出ることを確認する。

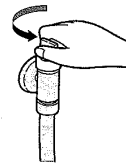
混合水栓タイプのシャワーセットの場合
切替ハンドルを右に回す。給湯栓を開け、
水の出ることを確認してから閉じる。



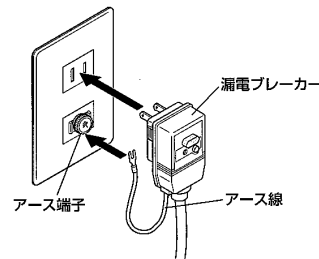
単水栓タイプのシャワーセットの場合
給湯栓を左に回して開け、水の出ることを
確認してから閉じる。



③ ガス栓を全開にする。



④ アース線をアース端子に接続し、漏電ブレーカーをコンセントに差し込む。



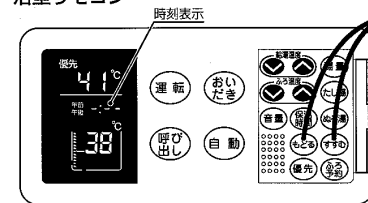
時計を合わせる

準備してください

最初にお使いのときには時計合わせをしてください。
いずれのリモコンでも操作できます。

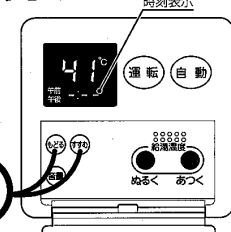
※図は、浴室リモコン 138-0051 型・台所リモコン 138-0050 型です。

浴室リモコン



① ②

台所リモコン



① ②



① すすむ または もどる を約 1 秒間押す。

時刻表示が点滅し始めます。
はじめて使うときには、時刻表示部に --:-- が点滅します。

② すすむ または もどる を押して現在時刻を合わせる。

時刻設定スイッチ（すすむ/もどる）を押すごとにそれぞれ 1 分づつ変わります。
※押し続けると、連続的に数字が変わります。
約 10 秒そのままにしておくと、設定完了となり、時刻表示が点滅から点灯に変わります。



時刻合わせについて

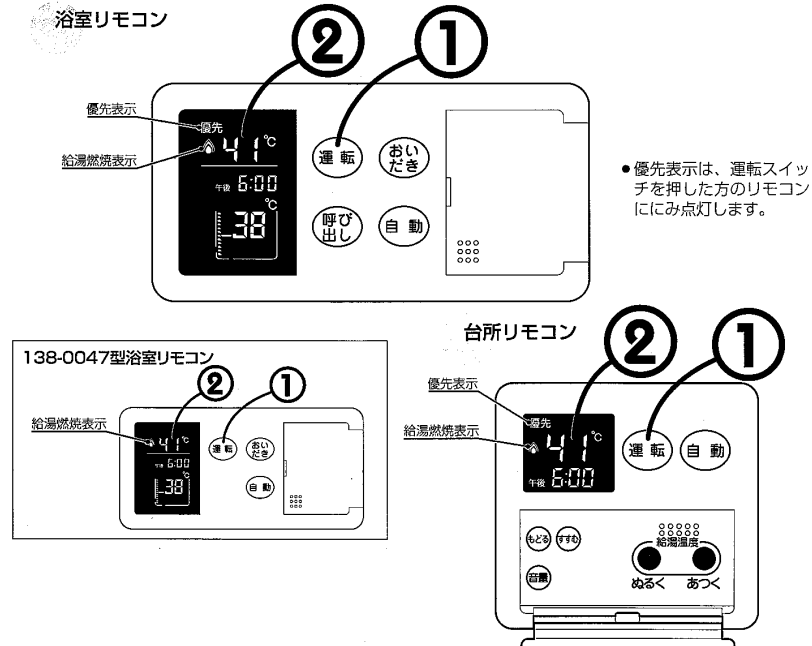
- 一度設定した時刻は変更するまで記憶していますが、停電したり漏電ブレーカーを抜いたときは時刻がずれますので設定をなおしてください。
- 予約運転中でも時刻合わせはできますが、予約時刻にお風呂が沸き上がらなかつたり、いきなり、自動運転が始まる場合があります。
- 運転スイッチを「切」にすると、台所リモコンは時刻表示だけが点灯した状態となり、浴室リモコンはすべての表示が消灯します。

お湯を使う

給湯を使うとき

浴室の出湯管、シャワーからお湯を使うことができます。浴室外に給湯配管されているお宅では、給湯配管先でもお湯が使えます。どのリモコンでも操作できます。

※図は、浴室リモコン 138-0051 型・台所リモコン 138-0050 型です。



警告



高温注意

お湯を使うときはやけどに注意

- お湯を使用している本人以外（特に小さなお子さまなど）は給湯温度を変えないでください。
- お湯を使うときは給湯温度を確認し、必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。
- お湯を一度止めて再度使用するときやあつめ運転終了直後は、一瞬熱いお湯が出る場合がありますので、出始めのお湯は体につけないでください。
- 給湯温度を変更するときや優先を切り替えるときは、他の人がお湯を使っていないことを確認してください。他の人がお湯を使っていると、そこのお湯の温度も変わるためやけどをすることがあります。
- 優先を切り替えたときは、必ず給湯温度を確認してください。温度が変わることがあります。

① 運転 を押し「入」にする。

表示部が点灯し、運転スイッチが緑色に光ります。

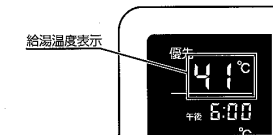
※リモコン2カ所設置の場合、運転スイッチを「入」にしたリモコンには、優先表示が点灯します。（リモコン2個設置の場合のみ）

☞P23「優先スイッチの使いかた」

② 給湯温度を確認する。

給湯温度を変えるときは…

☞P21-22「給湯温度を変える」



③ 給湯栓を開けてお湯を出す。

給湯栓を開けると、給湯燃焼表示が点灯し、しばらくしてお湯が出ます。

給湯栓を閉じると、給湯燃焼表示が消え、お湯が止まります。

浴室のシャワーセットからお湯を使うときには…

混合水栓タイプの場合

①切替ハンドルを右または左に回す。

給湯栓を開ける。

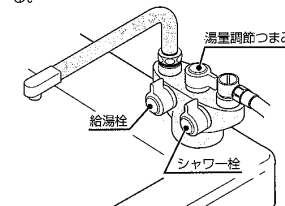
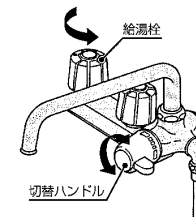
②使用後は給湯栓を閉じる。

単水栓タイプの場合

①給湯栓またはシャワー栓を左に回して開ける。

②湯量調節つまみを回して、お湯の量を調節する。

③使用後は、給湯栓またはシャワー栓を閉じる。



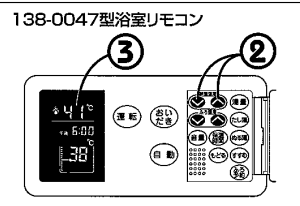
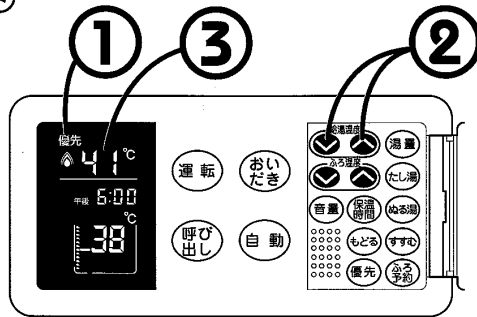
☞P15-16「シャワーセットの使いかた」

給湯温度を変える

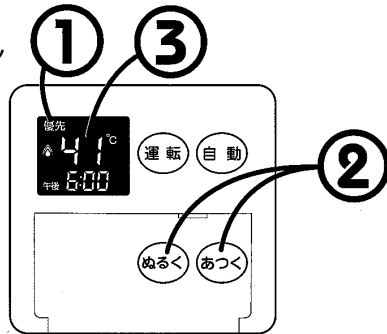
給湯を使うとき

お買い上げの際、給湯温度は42℃に設定してあります。
リモコン1カ所設置の場合は優先表示は点灯しません。
※図は、浴室リモコン138-0051型・台所リモコン138-0050型です。

浴室リモコン








台所リモコン



① 優先表示が点灯していることを確認する。

台所リモコンを設置していない場合は、優先表示は点灯しません。

② 給湯温度スイッチ  で、給湯温度を設定する。





 または  を押すと、上がるメロディーと共に「あつく」とお知らせします。
 または  を押すと、下がるメロディーと共に「ぬるく」とお知らせします。


③ 表示画面で給湯温度表示を確認してください。

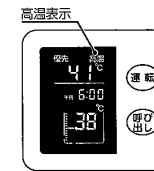
仕組み

給湯温度のめやす



-  または  を押し続けると、45℃までは連続で変わります。46℃以上にするときは、スイッチを1回ずつ押してください。
-  または  を押し続けると連続で変わります。
- 表示している温度と実際の温度は、配管条件などにより必ずしも一致しません。目安としてください。
- 給湯温度を60℃にセットすると「あついお湯が出ます」とお知らせして、表示画面に高温表示（赤）が点灯して注意を促します。右図を参照。
- 一度設定した給湯温度は変更するまで記憶しています。
- サーマスタット水栓をご使用の場合は…

 P8「水栓について」



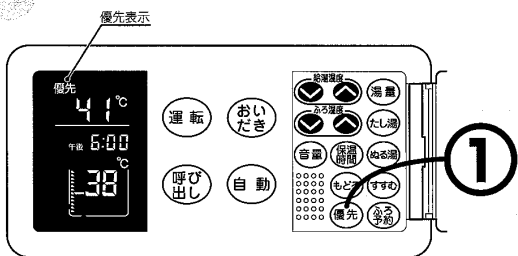
浴室リモコンの表示例。台所リモコンにも点灯します。

優先スイッチの使いかた

給湯を使うとき

シャワー器具と給湯配管先には、同じ温度のお湯を供給します（給湯温度は浴室リモコンと台所リモコンでいつも同じ温度を表示します）。そのため、お湯を使用中、他の人がリモコンで給湯温度を変えてしまうとお湯の温度が変わりやけどをすることがあります。このような事故を防止するため、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。

浴室リモコン（138-0051型）



●浴室リモコン138-0047型には、優先スイッチはありません。浴室リモコン138-0051型も、台所リモコン138-0050型が設置されていない場合には優先スイッチははたらきません。

1 浴室リモコンの「優先」スイッチを押す。

「優先」を一回押すたびに、優先権が、浴室リモコン→台所リモコン→浴室リモコン…と交互に切り替わります。

優先になったリモコンの表示画面に優先表示が点灯します。

仕組み

給湯設定温度の優先権

- 優先表示が点灯していないリモコンで、給湯温度スイッチを押すと、音声で「給湯温度は変更できません」とお知らせします。
- 浴室リモコンと台所リモコンは、それぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると、優先権を持つリモコンが記憶していた温度が給湯温度になります。



- 給湯温度の変更以外は、どちらのリモコンでも、優先権に関係なく設定したり使用することができます。
- リモコン1個設置の場合は、優先表示は点灯しません。

自動運転のはたらき

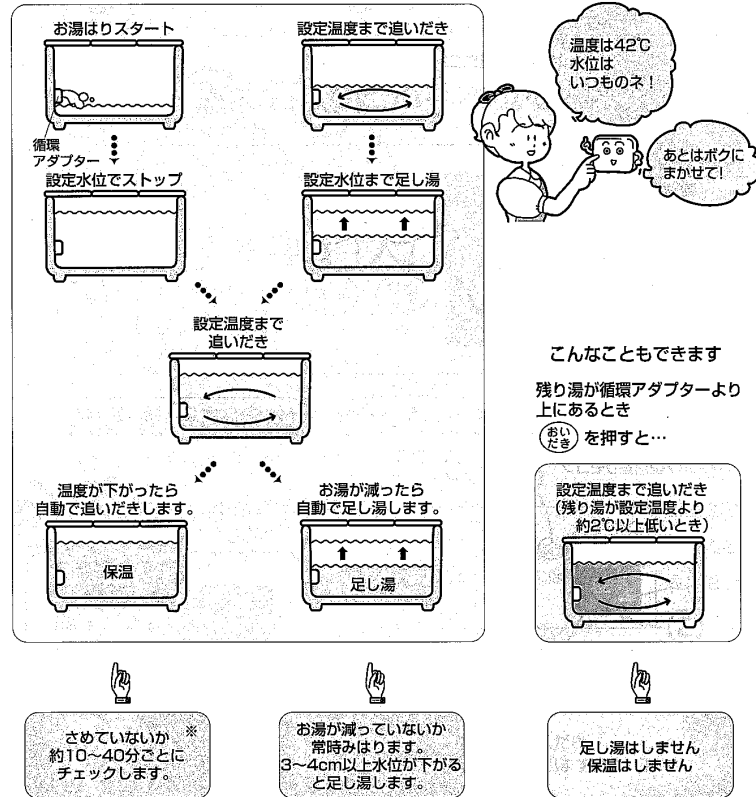
お風呂を沸かすとき

自動 を押すだけの簡単操作で、お風呂沸かしは全ておまかせです。

仕組み

残り湯がない場合
または残り湯が
循環アダプターより
下にある場合

残り湯が
循環アダプターより
上にある場合

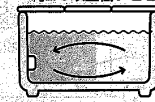


こんなこともできます

残り湯が循環アダプターより上にあるとき

「おいだき」を押すと…

設定温度まで追いつき
(残り湯が設定温度より約2°C以上低いとき)



※
さめていないか
約10～40分ごとに
チェックします。

※
お湯が減っていないか
常時みられます。
3～4cm以上水位が下がる
と足し湯します。

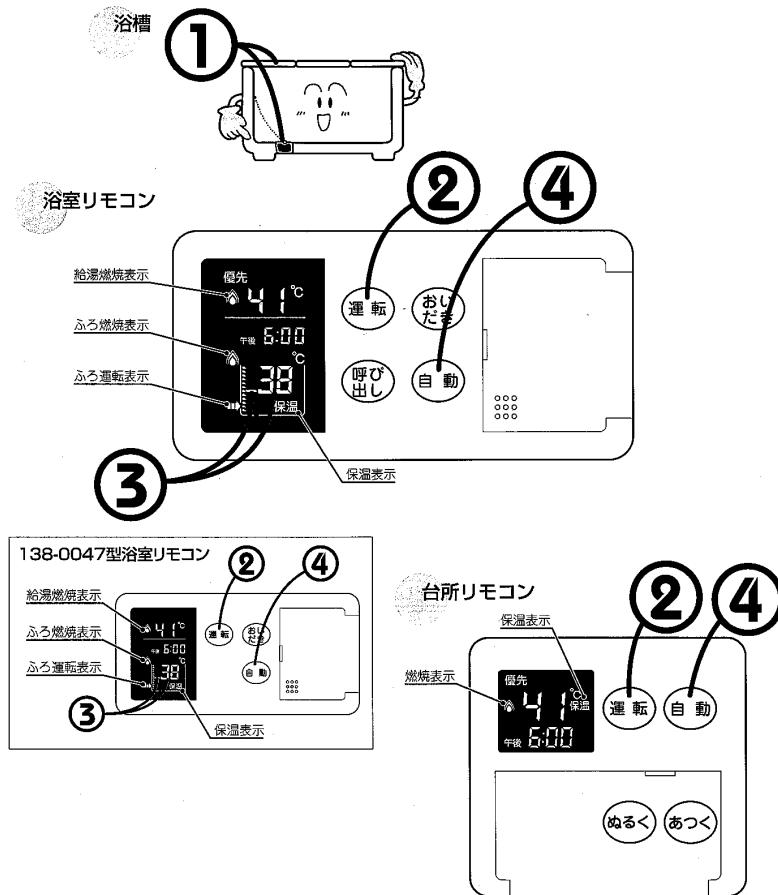
足し湯はしません
保温はしません

※ふる設定温度などによって異なります。給湯を使用していると、時間がずれることがあります。

自動運転でお風呂を沸かす

お風呂を沸かすとき

④自動 スイッチを押すだけで、お風呂沸かしは全てお任せです（自動運転）。
浴室リモコン、台所リモコンのいずれでも操作できます。
※図は、浴室リモコン 138-0051 型・台所リモコン 138-0050 型です。



- 1** 浴槽の排水栓を閉め、浴槽にフタをする。
- 2** **運転** を押し「入」にする。
表示部が点灯します。
- 3** ふろ設定温度とふろ水位を確認する。
ふろ設定温度およびふろ水位を変えるときは…
P27 「ふろ設定温度を変える」
P28 「ふろ設定水位を変える」
- 4** **自動** を押し「入」にする。
音声で「湯はりします」とお知らせして **赤** が赤く光り、浴槽に湯はりを始めます。給湯燃焼表示・ふろ運転表示、つづいてふろ燃焼表示・ふろ運転表示（台所リモコンでは燃焼表示）が点灯します。また、湯はり完了の5分前には「残りおよそ5分でお風呂が沸きます」とお知らせします。

自動運転を途中でやめるときには…

④(赤) を押し、消灯させてください。

お風呂が沸き上がると…

湯はりが終わると音楽が鳴り、音声で「お風呂が沸きました」とお知らせします。リモコンの表示画面には保温表示が点灯し、一定時間保温します。保温時間を変えるには…

P30 「保温時間を変える」

保温時間が終了すると、保温表示が消え、自動スイッチ（赤）が消灯します。

警告



高温注意

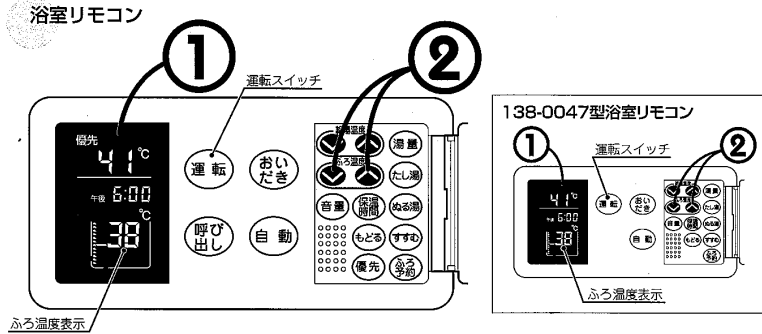
やけどに注意

- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。
- 追いだきのときは循環アダプターから熱いお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。

風呂設定温度を変える

お風呂を沸かすとき

浴室リモコンで操作します。
お買い上げの際の風呂設定温度は42℃です。
※図は、浴室リモコン138-0051型です。



① 表示画面が点灯していることを確認する。
表示画面が点灯していないときは、**運転**を押して、表示画面を点灯状態にします。

② 風呂温度スイッチ で、風呂温度を設定する。
 を押しと、メロディーと共に「風呂温度をあつく」とお知らせします。
 を押しと、メロディーと共に「風呂温度をぬるく」とお知らせします。

仕組み

風呂温度のめやす

● を押しつづけると45℃までは連続で変わります。46℃以上にするとときは一回づつ押ししてください。

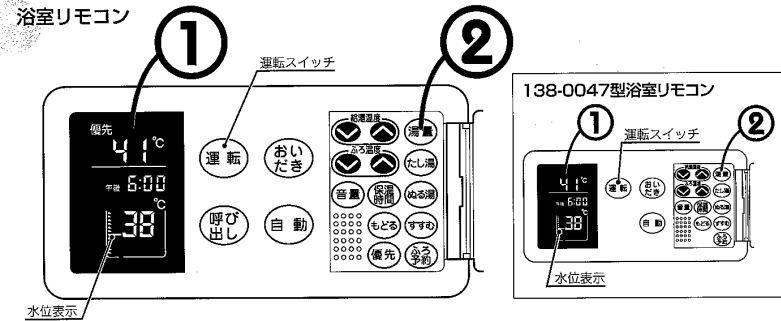


- 表示している温度と実際の温度は必ずしも一致しません。目安としてください。
- 一度設定した風呂設定温度は、変更するまで記憶しています。

風呂設定水位を変える

お風呂を沸かすとき

浴室リモコンで操作します。
※図は、浴室リモコン138-0051型です。



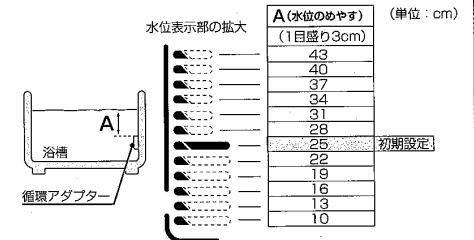
① 表示画面が点灯していることを確認する。
表示画面が点灯していないときは、**運転**を押して、表示画面を点灯状態にします。

② 湯量 で、風呂水位を設定する。
 を押したびに、表示画面の水位表示が上がっていきます。このとき、上がるメロディーとともに音声で「湯量を多く」とお知らせします。
 水位表示が一番上まで上がったときに を押しと、水位表示が一番下までもどり、下がるメロディーとともに「湯量を少なく」とお知らせします。

仕組み

水位表示について

- 湯量は水位で表され、浴槽に設置された循環アダプターから何cm上(上表のAの数値)まで湯はりするかをいいます。
- お買い上げの際の風呂設定水位は下から6番目(赤い線)で、リモコンの表示画面に現れます。
- 実際の水位と、上表のA寸法は、条件により一致しないこともありますので、湯量スイッチで調整してください。
- 浴槽の形状によっては高い水位に設定するとお湯があふれることがありますのでご注意ください。



を押しと、1回ごとに風呂設定 25 → 28 → 31 → 34 → 37 → 40 → 43 水位は右のように変わります。

※表の数字は水位のめやすです。季節や水温、浴槽などの条件により必ずしもこの水位にならないこともあります。

お風呂沸かしのコツ

お風呂を沸かすとき



自動運転について

- 保温中でもふろ設定温度を変えることができます。
ふろ設定温度を高くしたときには、すぐに追いだきが始まります。
P27「ふろ設定温度を変える」
- ふろ設定温度を変えないで、お風呂のお湯の温度を変えたいときは…
P31「お風呂をあつくる」
- P33「お風呂をめくる」
- 保温表示が点灯している間は、お湯の温度が下がると自動的においだきます。さらに全自動タイプの場合は、お湯が減ると自動的にたし湯します。

残り湯を水位を変えずに沸かしなおすとき

- 残り湯が循環アダプターより上にあるとき (残り湯) を押し、水位を変えずにお湯をあつくるができます。
P31「お風呂をあつくる」



水位について

- 残り湯がある状態で (残り湯) を繰り返し押し、お湯があふれることがあります。
満水状態でも (残り湯) を押し、約16リットルお湯が足されます。
- 保温中に浴槽の水位が循環口を下まわると、保温が切れて自動運転が停止することがあります。こんなときは、もう一度 (残り湯) を押ししてください。
- 設定水位が高いときは、足し湯中に入浴するとお湯があふれることがあります。

自動運転について

- お湯はり中に給湯やシャワーを使うと浴槽へのお湯は一時停止します。
このときのお湯の温度はふろ設定温度となります。
給湯やシャワーの使用をやめると再びお湯はりします。ただし、湯量 (お湯の出具合) が少ないときは、湯はりは中断せず、ふろ設定温度よりやや低めの温度となります。
- 残り湯があるときに自動運転をした場合、完了5分前のお知らせはしません。

はじめて自動運転するときには

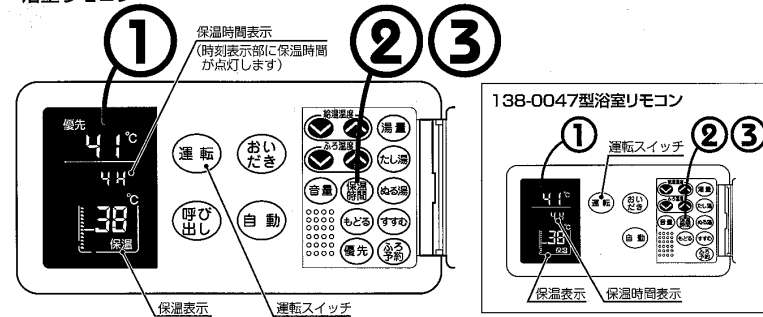
- 機器が浴槽の大きさを記憶するため、初めて自動運転するときは、浴槽に水のない状態にして、排水栓を開けてから (残り湯) を押ししてください。リモコンにエラー表示「002」が点灯したときは…
P56「エラー表示」
- 沸き上がるまでの間は入浴したり、お湯をかき回したりしないでください。給湯やシャワーを使用しないでください。
設定した温度・水位にならないことがあります。

保温時間を変える

お風呂を沸かすとき

自動運転の保温時間を変更することができます。浴室リモコンで操作します。
お買い上げの際は4時間に設定してあります。
※図は、浴室リモコン138-0051型です。

浴室リモコン



1 表示画面の点灯を確認する。

表示画面が点灯していないときは、(電源) を押して、表示画面を点灯状態にします。



2 (保温時間) を押します。

音声で「保温時間が変更できます」とお知らせします。

表示画面の時刻表示部に保温時間が約5秒間現われ、保温表示が点滅し始めます。



3 (保温時間) を押して、保温時間を変更する。

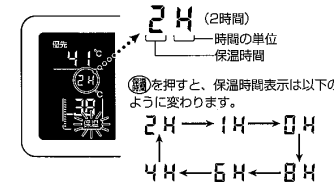
保温時間が表示されている間に、(保温時間) を押し、保温時間が変わり「保温時間が変更されました」とお知らせします。

※最後に (保温時間) を押してから約5秒間そのままにすると保温時間設定が完了します。保温表示が消えて保温時間表示が時刻表示に戻ります。



保温時間について

- (保温時間) を押し、保温時間は右図のように変わります。
- 保温時間を0時間に設定した場合、音声で「保温しません」とお知らせします。
- 一度設定した保温時間は、運転を「切」にしても記憶しています。

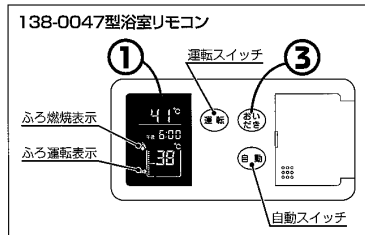
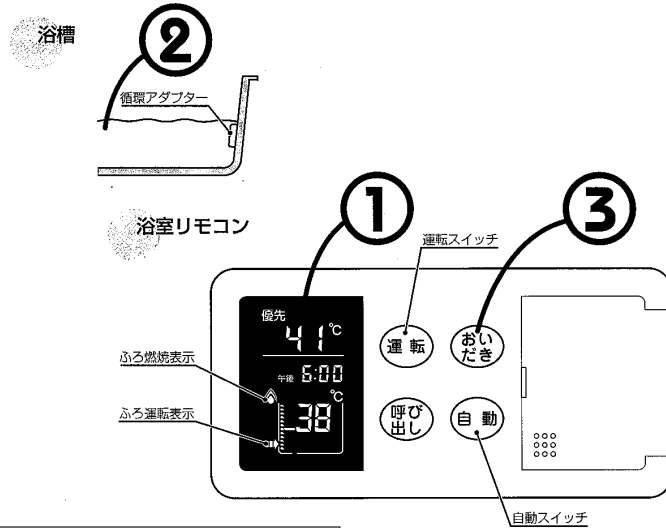


お風呂をあつくる

お風呂を沸かすとき

浴室リモコンで操作します。浴槽のお湯の温度が約2℃上昇するまで追いかけるか、ふる設定温度まで追いかせます。

※図は、浴室リモコン 138-0051 型・台所リモコン 138-0050 型です。



警告



高温注意

やけどに注意

- 追いかけるときは循環アダプターから熱いお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。

① 表示画面が点灯していることを確認する。
表示画面が点灯していないときは、**④** を押して、表示画面を点灯状態にします。

② 浴槽に、循環アダプターの上までお湯(水)が入っていることを確認する。

③ **おいだき** を押す。
リモコンの表示画面には、ふる運転表示とふる燃焼表示が現われます。おいだきスイッチ **⑤** が黄色に光り、お湯の温度が約2℃上昇するまで(3～4分)おいだきします。
水から沸き上げるなど、約3分経過しても設定温度にならない場合は、ふる設定温度までおいだきします。

おいだき運転を途中でやめるときには…

もう一度、**⑤** を押して、消灯させてください。

仕組み

おいだき運転について

- **⑤** を押した後、ふる設定温度を変えたときは、ふる設定温度までの追いかかりとなります。
- 保温中でもおいだき運転ができます。おいだき運転終了後10～40分たつと、再びふる設定温度での保温に戻ります。
- 給湯やシャワーを使用中でもおいだき運転ができますが、出湯温度や出湯量が変動したり、おいだき運転に時間がかかることがあります。

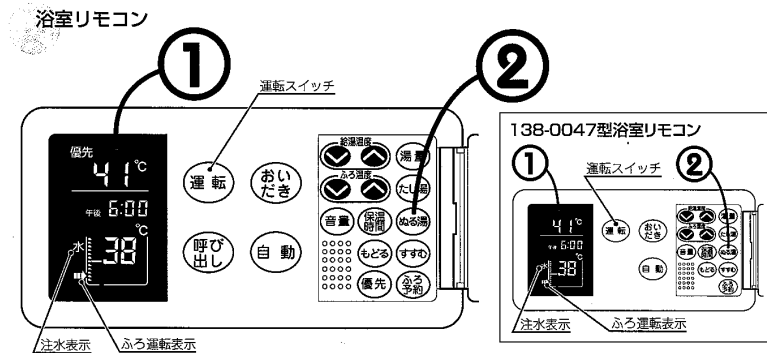
循環アダプターの上までお湯(水)が入っていないときに**おいだき**スイッチを押すと…

- 浴槽に約6リットル湯はりして、水位が循環アダプターの上まで達しないときは自動運転に切り替わり、おいだきスイッチ **⑤** (黄) が消灯して自動スイッチ **⑥** が赤く光ります。この後は、自動運転と同じ動作(湯はり・保温)に入りますので、途中で止めたい場合は **⑥** を押してください。

お風呂をぬるくする

お風呂を沸かすとき

浴室リモコンで操作します。
浴槽の残り湯の量に関係なく働きます。
※図は、浴室リモコン138-0051型です。



① 表示画面が点灯していることを確認する。
表示画面が点灯していないときは、**運転**を押して、表示画面を点灯状態にします。

② **ぬる湯**を押す。
注水表示とふる運転表示が点灯して、循環アダプターより浴槽に約10リットル注水します。
ぬる湯運転を途中でやめるときには…
もう一度、**ぬる湯**を押して、消灯させてください。

仕組み

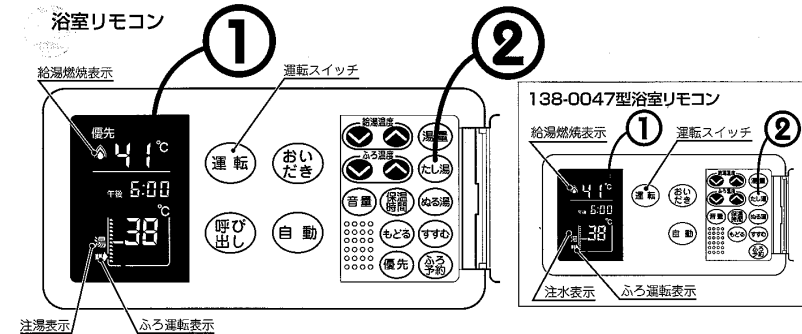
ぬる湯運転について

- 給湯やシャワーを使用中は、**ぬる湯**を押しても注水されません。給湯やシャワーの使用をやめると水を足します。
- ぬる湯運転中に給湯やシャワーを使用すると、ぬる湯運転は一時中断されます。このとき給湯栓から水が出ることもあります。
- 保温中でもぬる湯運転ができます。ぬる湯運転終了後30分たつと、再びふる温度での保温に戻ります。
- ぬる湯運転をすると水位が上がります。浴槽の水位がもともと高い場合にはお湯があふれることがあります。
- ぬる湯運転が終了すると、注水表示およびふる運転表示は消えます。

お風呂のお湯をふやす

お風呂を沸かすとき

浴室リモコンで操作します。
浴槽の残り湯の量に関係なく働きます。
※図は、浴室リモコン138-0051型です。



① 表示画面が点灯していることを確認する。
表示画面が点灯していないときは、**運転**を押して、表示画面を点灯状態にします。

② **たし湯**を押す。
注湯表示とふる運転表示および給湯燃焼表示が点灯して、ふる設定温度のお湯が約20リットル循環アダプターより足されます。

たし湯運転を途中でやめるときには…
もう一度、**たし湯**を押して、消灯させてください。

仕組み

たし湯運転について

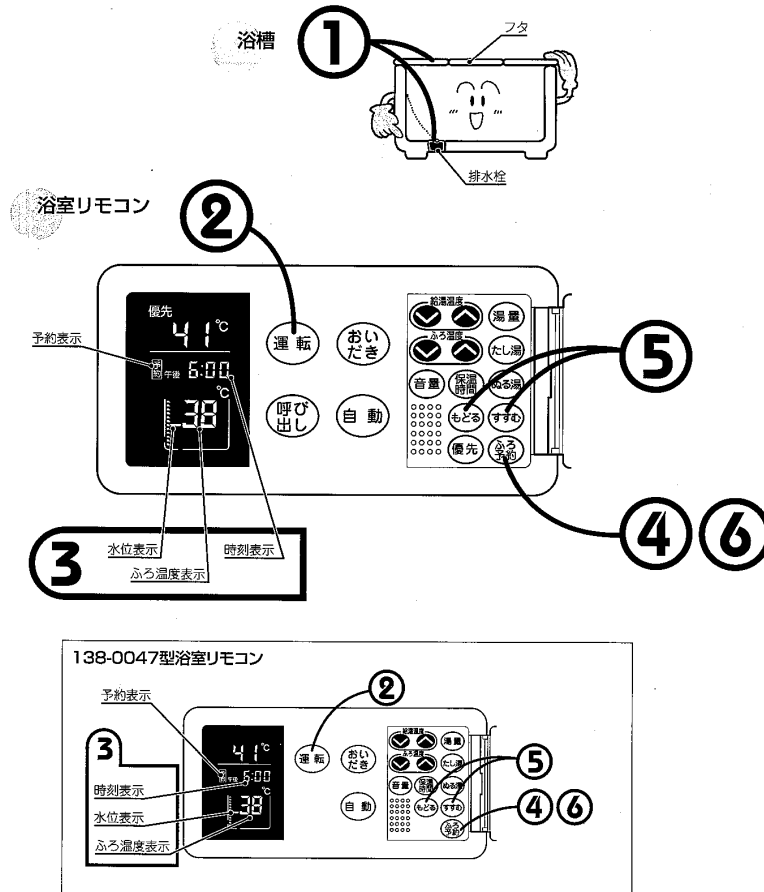
- 給湯やシャワーを使用中は、**たし湯**を押しても注湯されません。給湯やシャワーの使用をやめるとお湯を足します。
- たし湯運転中に給湯やシャワーを使用すると、たし湯運転は一時中断されます。このときのお湯の温度はふる設定温度となります。給湯やシャワーの使用をやめると再びたし湯します。ただし湯量（お湯の出力）が少ないときは、たし湯は中断せず、ふる設定温度よりやや低めの温度のお湯となります。
- 保温中でもたし湯運転ができます。
- たし湯運転をすると水位が上がります。浴槽の水位がもともと高い場合にはお湯があふれることがあります。
- たし湯運転が終了すると、注湯表示、ふる運転表示および給湯燃焼表示は消えます。

決めた時刻にお風呂を沸かす (予約運転)

お風呂を沸かすとき

予約した時刻に入浴できるように機器が自動でお風呂を沸かします (予約運転)。浴室リモコンで操作します。

※図は、浴室リモコン 138-0051 型です。



- ① 浴槽の排水栓を閉じ、浴槽にフタをする。
- ② **運転** を押し「入」にする。
表示部が点灯します。
- ③ ふろ設定温度・ふろ水位・現在時刻を確認する。
ふろ設定温度・ふろ水位を変えるときは…
P27「ふろ設定温度を変える」
P28「ふろ設定水位を変える」
- ④ **予約** を押す。
表示画面に予約表示が点灯し、時刻表示部に設定した予約時刻を表示します。(初めて予約運転をするときは、0:00 が点滅します。)
- ⑤ **すすむ** または **もどる** を押して予約時刻を設定する。
時刻設定スイッチ (すすむ/もどる) を押すごとにそれぞれ 1 分ずつ変わります。
押し続けると連続的に時刻が変わります。
- ⑥ **予約** を押して予約時刻を確定する。
または、予約時刻を設定したまま約 10 秒間放置すると、その時刻が確定します。表示は現在時刻に戻ります。予約表示は点灯したままになります。
機器は予約した時刻に湯はりが完了するように、自動的に湯はりを始めます。(このとき **目** が点灯します)
※予約時刻は、現在時刻より 30 分以降に設定してください。30 分以内になると、予約時刻になっても湯はりが完了しないことがあります。

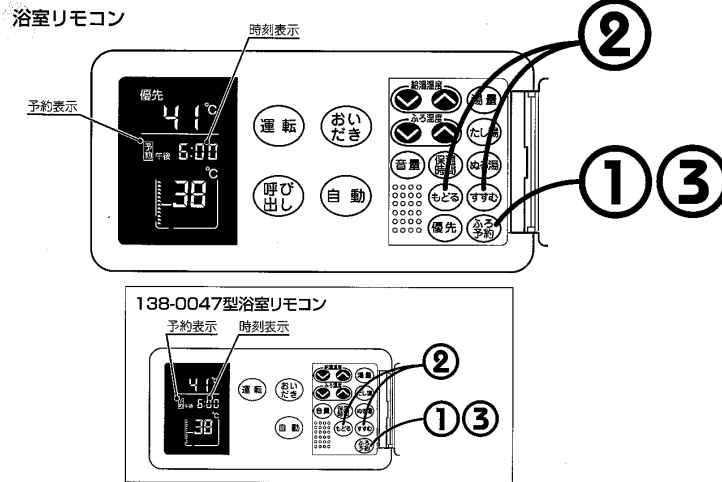
湯はりが完了すると…

- 湯はり完了の約 5 分前には「残りおよそ 5 分でお風呂が沸きます」とお知らせします。
- 残り湯があるときに予約運転をした場合、完了 5 分前のお知らせはしません。
- 湯はりが完了すると音楽が鳴って、音声で「お風呂が沸きました」とお知らせします。
- お風呂が沸き上がると、リモコンの表示画面に保温表示が点灯して、指定された時間、保温運転をします。保温時間を変えるときは…
P30「保温時間を変える」

予約時刻の変更をする

お風呂を沸かすとき

予約運転の操作が完了したあとでも、予約時刻の変更ができます。
※図は、浴室リモコン 138-0051 型です。



- 1 予約表示が点灯しているのを確認し、**予約** を2回押す。

表示画面の時刻表示部に予約時刻が現われます。

- 2 **すすむ** または **もどる** を押して予約時刻を変更する。

時刻設定スイッチ（すすむ/もどる）を押すごとにそれぞれ1分ずつ変わります。押し続けると連続的に時刻が変わります。

- 3 **予約** を押して予約時刻を確定する。

または、予約時刻が点灯している状態で約10秒間放置すると、その時刻が確定します。表示は現在時刻に戻り、予約表示が点灯します。

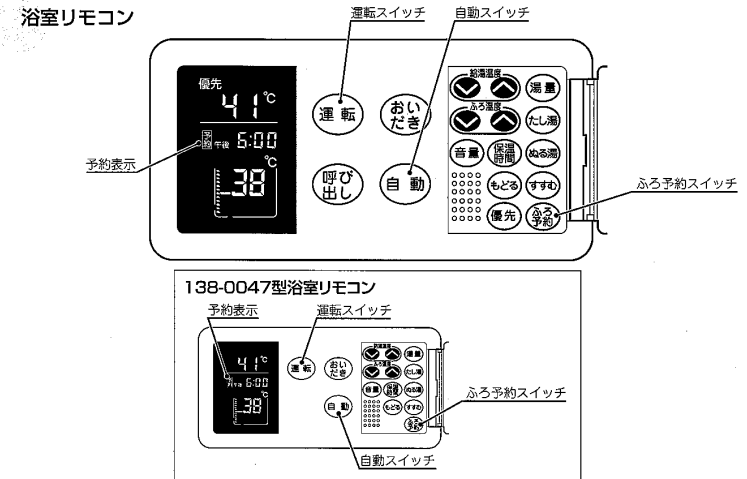
☐ P35 「決めた時刻にお風呂を沸かす」

予約運転をやめるとき

お風呂を沸かすとき

予約運転の設定はしたけれど…。予定変更！お風呂を沸かすのを止めたい。
そんなときには…。

※図は、浴室リモコン 138-0051 型です。



■ まだ、湯はりが始まっていないならば…

- **予約** を押してリモコンの予約表示を消してください。

運転スイッチを「切」にしても、予約運転は解除されます。

■ 湯はりが始まってしまったとき・湯はりが終わって保温になっているときには…

- **自動** を押します。

湯はり/保温が止まります。（台所リモコンの自動スイッチを押しても、湯はり/保温は止まりません。）

※湯はり開始後は、機器は自動運転と同じ手順で運転します。止めるのも自動運転と同じになります。

予約運転のコツ

お風呂を沸かすとき



機器は、予約運転の時刻を覚えています

- 予約時刻は、予約運転終了後も（運転スイッチを「切」にしても）機器が記憶しています。「予約」の表示が消灯しているときにふる予約スイッチを押すと、約 10 秒間予約時刻が表示され、そのまま予約運転に入ります。

毎日同じ時刻にお風呂に入るには…

- 予約時刻の 30 分以上前に、毎日予約スイッチを押してください。

予約時刻の確認だけしたいときは…

- 予約運転をしていないときは、ふる予約スイッチを 1 回押します。時刻表示部に予約時刻が約 10 秒間点滅します。このままだと、予約運転に入ってしまうので、もう一度ふる予約スイッチを押して予約表示を消灯させるか、運転スイッチを一旦「切」にします。
- 予約運転をしているときは、ふる予約スイッチを 2 回押します。時刻表示部に予約時刻が約 10 秒間点滅します。

仕組み

予約運転の機能について

- 予約運転は、自動運転の開始時刻を指定の時刻まで遅らせる機能です。予約運転も、湯はりが始まると、あとは自動運転と同じ手順で湯はり、追いだし、保温をします。

仕組み

予約運転について

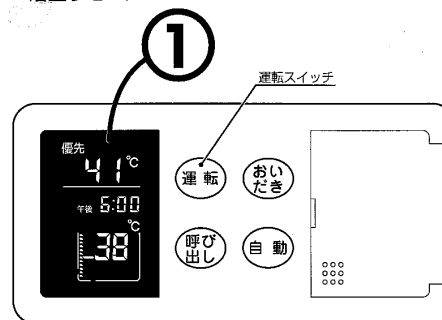
- 次のようなときは予約時刻になってもお風呂が沸き上がらないことがあります。
 - ・ 予約運転が始まった後で給湯やシャワーを使用したとき。
 - ・ 冬期、ふる設定温度を高くしたとき。
 - ・ 予約時刻を現在時刻の 30 分以内に設定したとき。
 - ・ 水温、水圧が低いとき。
 - ・ ふる設定水位（湯量）が高い（多い）とき。
 - ・ 残り湯があるとき。
- 予約運転中であっても現在時刻の変更ができますが、現在時刻を変更することで、予約時刻に風呂が沸き上がらなかったり、自動運転が始まってしまうことがあります。

セルフクリーン機能

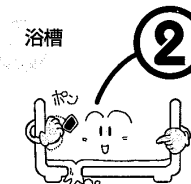
お風呂を沸かすとき

自動運転や予約運転でお風呂を沸かした後は、お風呂のお湯を抜くと、風呂配管内に残ったお湯が循環アダプターから自動的に排出されます（セルフクリーン機能）。次にお風呂を沸かすときに新しいお湯に残り湯が混ざることがなく、きれいなお湯で入浴できます。
※図は、浴室リモコン 138-0051 型です。

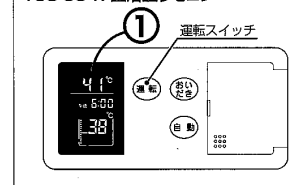
浴室リモコン



浴槽



138-0047型浴室リモコン



- ① リモコンの表示画面の点灯を確認する。
表示画面が点灯していないときは、**運転**を押して、表示画面を点灯状態にします。

- ② 浴槽の排水栓を抜く。
循環アダプターより水位が下がったことをセンサーが感知すると、循環アダプターからふる温度のお湯が出たのち、機器内のポンプがはたらき、風呂配管内のお湯が排出されます。排出が終わると自動的に停止します。

仕組み

セルフクリーン機能について

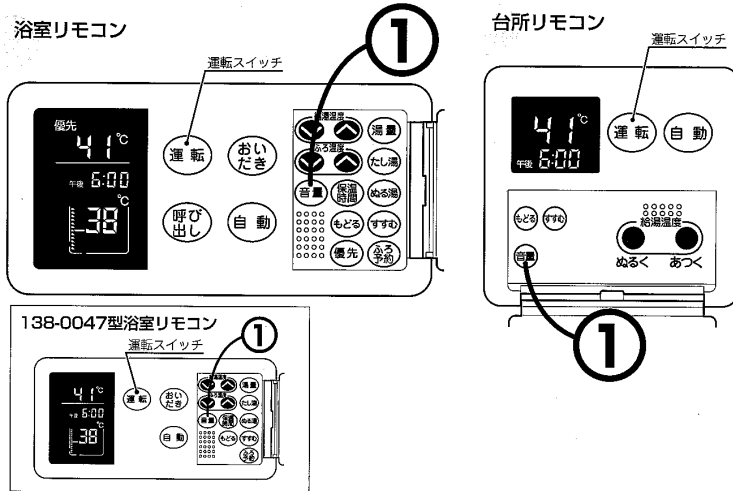
- ふる温度によっては熱いお湯が出ますので、やけどにご注意ください。
- 排水栓を抜かなくても、循環アダプターより水位が下がると自動的に排水します。
- 次のようなときはセルフクリーン機能が動かないことがあります。
 - ・ もともと浴槽の水位が低い（循環アダプター上端から 5cm 以下）とき。
 - ・ 排水中に給湯やシャワーを使用したとき。
 - ・ 大型浴槽をご使用の場合や、ゴミ詰まりなどにより、排水時間が長いとき。
 - ・ 自動運転中、「お風呂が沸きました」というお知らせ音が鳴る前に自動運転を「切」にしたとき。
- **運転**を「切」にしてもしばらくポンプが回っています。浴槽の排水栓を抜くのはポンプ停止後（循環アダプターからお湯が出なくなってから）にしてください。

音声やメロディの大きさを変える

その他の機能

リモコンから出る音声やメロディの大きさを変えることができます。浴室リモコンの音量は浴室リモコンで、台所リモコンの音量は台所リモコンで、それぞれ操作してください。

※図は、浴室リモコン 138-0051 型・台所リモコン 138-0050 型です。



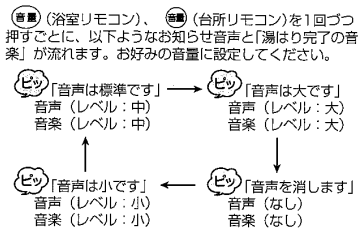
① 音量 (浴室リモコン) または 音量 (台所リモコン) を押す。

優先の「入・切」に関係なく操作できます。

仕組み

音量について

- お買い上げの際は、中 (標準) にセットされています。
- 音量を小さくすると、お知らせ音が聞こえにくくなります。
- 一度設定した音量は変更するまで記憶しています。
- 音声・音量を消しても、注意を喚起する音声だけは消すことはできません。



仕組み

音声について

●各リモコンのスイッチを押したときに出る音声は下表の通りです。()内は同時に出る電子音等

操作するスイッチ・条件等	浴室リモコンから出る音声	台所リモコンから出る音声
運転 (「入」にする)	給湯温度が60℃以外 (ビープ)	
優先	給湯温度が60℃のとき (ビープ) あつにお湯が出ます	あつにお湯が出ます
	給湯設定温度変化なし 台所60℃ (ビープ) あつにお湯が出ます	あつにお湯が出ます
	給湯設定温度変化あり 台所60℃ (ビープ) あつにお湯が出ます	あつにお湯が出ます
	給湯設定温度変化なし 60℃以外 (ビープ) 給湯温度が変更されました	あつにお湯が出ます
台所→浴室へ優先切替	給湯設定温度変化なし 浴室60℃ (ビープ) あつにお湯がでます	あつにお湯が出ます
	給湯設定温度変化あり 60℃以外 (ビープ) 給湯温度が変更されました	あつにお湯が出ます
給湯温度	浴室リモコン優先のとき (上がるメロディ) あつ (上がるメロディ) あつにお湯がでます	あつにお湯が出ます
給湯温度	台所リモコン優先のとき (下がるメロディ) ぬる	給湯温度が変更されました
自動	スイッチを押したとき (ビープ) 濁りはりします	濁りはりします
	濁りはり終了 5分前 (音響設定: 大・中・小) 残りおよそ5分でお風呂が沸きます	(ビープと約5回) 残りおよそ5分でお風呂が沸きます
	音響設定消滅 (ビープと約5回)	(ビープと約5回)
	自動濁りはり終了時 (音楽) お風呂が沸きました	(音楽) お風呂が沸きました
お風呂予約	スイッチを押したとき (ビープ)	(ビープと約5回)
おいたき	スイッチを押したとき (ビープ)	
たし湯	スイッチを押したとき (ビープ)	
ぬる湯	スイッチを押したとき (ビープ)	
お風呂温度	スイッチを押したとき (上がるメロディ) お風呂温度をあつ (下がるメロディ) お風呂温度をぬる	
	音量最低以外 (ビープ) 音量を多く	
湯量	湯量最低 (下がるメロディ) 湯量を少なく	
	1回押し (ビープ) 保温時間が変更できます	
保温時間	0時間以外 (ビープ) 保温時間が変更されました	
	0時間 (ビープ) 保温しません	
音量	初期設定 中 (ビープ) 音声は標準です	
	1回押し 大 (ビープ) 音声は大です	
	もう1回 音消し (ビープ) 音声は消します	
もう1回 小 (ビープ) 音声は小です		
呼び出し	呼び出し (押ししている間ビープビープ)	(ビープビープと約5回)
時計設定 (もどる/すすむ)	スイッチを押したとき (ビープ)	

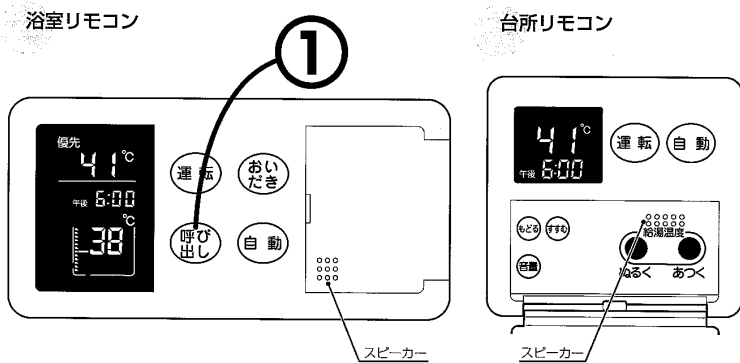
操作するスイッチ・条件等	台所リモコンから出る音声	浴室リモコンから出る音声
運転 (「入」にする)	給湯温度が60℃以外 (ビープ)	
給湯温度「あつ」	給湯温度が60℃のとき (上がるメロディ) あつ	給湯温度が変更されました
給湯温度「60℃に設定」	台所リモコン優先のとき (上がるメロディ) あつにお湯が出ます	あつにお湯が出ます
給湯温度「ぬる」	浴室リモコン優先のとき (下がるメロディ) ぬる	給湯温度が変更されました
給湯温度「あつ」または「ぬる」	浴室リモコン優先のとき (上がるメロディ) ぬる	給湯温度が変更されました
自動	スイッチを押したとき (ビープ) 濁りはりします	(ビープと約5回) 濁りはりします
	濁りはり終了 5分前 (音響設定: 大・中・小) 残りおよそ5分でお風呂が沸きます	(ビープと約5回) 残りおよそ5分でお風呂が沸きます
	音響設定消滅 (ビープと約5回)	(ビープと約5回)
	自動濁りはり終了時 (音楽) お風呂が沸きました	(音楽) お風呂が沸きました
初期設定	中 (ビープ) 音声は標準です	
1回押し	大 (ビープ) 音声は大です	
もう1回	音消し (ビープ) 音声は消します	
もう1回	小 (ビープ) 音声は小です	
時計設定 (もどる/すすむ)	スイッチを押したとき (ビープ)	

※浴室リモコン 138-0047 型の場合、優先スイッチと呼び出しスイッチはありません。
 ※浴室リモコン 138-0050 型をご使用の場合でも、浴室リモコン 138-0051 型が取り付けられていない場合は、優先スイッチを押しても音は出ません。

浴室から人を呼びたいとき

その他の機能

リモコンを2カ所設置の場合、台所リモコンから呼び出し音を鳴らすことができます。
浴室リモコン 138-0047型には、呼び出しスイッチはありません。



① 呼び出しを押す。

台所リモコンのスピーカーから「ピーッピビビビ」と約5回、浴室リモコンはスイッチを押している間「ピーッピーツ」と鳴ります。

音量については…

☞ P41 「音声やメロディの大きさを変える」



リモコン1個設置の場合… (浴室リモコン 138-0051型)

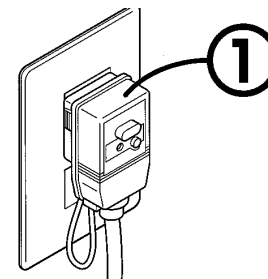
- 浴室リモコンだけの設置の場合は、リモコンの設定音量や浴室内外の条件などによって、浴室外まで音が届かないことがあります。

通常の寒さのとき (気温0℃~-15℃)

凍結予防

冬期は暖かい地域でも機器内の水が凍結することがあり、破損事故・水漏れ故障の原因となります。このようなことを防ぐため、凍結予防の処置をしてください。下記の機能は「運転」の「入・切」に関係なく作動します。

凍結予防ヒーター (給湯・風呂側) による凍結予防



① 漏電ブレーカーがコンセントに差し込まれているのを確認してください。

この機器は、気温が下がってくると自動的に機器内部の配管を保護する凍結予防ヒーターがついています。

通常は漏電ブレーカーをコンセントに入れておくだけで機器の凍結予防ができます。

電源について

- 機器に電力を供給しないと、凍結予防ヒーターは作動しません。漏電ブレーカーをコンセントから抜いたり、配電盤のブレーカーを「切」にしないでください。
- 停電時は凍結予防ヒーターが作動しませんので、P48「長期間使用しないとき」の1~5の手順で水抜きを行ってください。

凍結予防

- 風が強いときや気温が-15℃以下のときは、この方法だけでは凍結を予防できませんので、P45-46「冷え込みが厳しいとき」またはP47-49「長期間使用しないとき」の処置をしてください。
- この方法だけでは給水・給湯配管、給水元栓などの凍結予防はできませんので、保温材を巻くなどの処置をしてください。不明な点は販売店にご相談ください。
- 冷え込みの厳しい地域では、「水道凍結防止器」などを配管およびバルブ類に巻いて、十分な保温をしてください。不明な点は販売店にご相談ください。
- 上記の処置をしないで機器が破損したときの修理は保証期間内でも有料です。
- 凍結したときは…

☞ P49「凍結したときの処置」

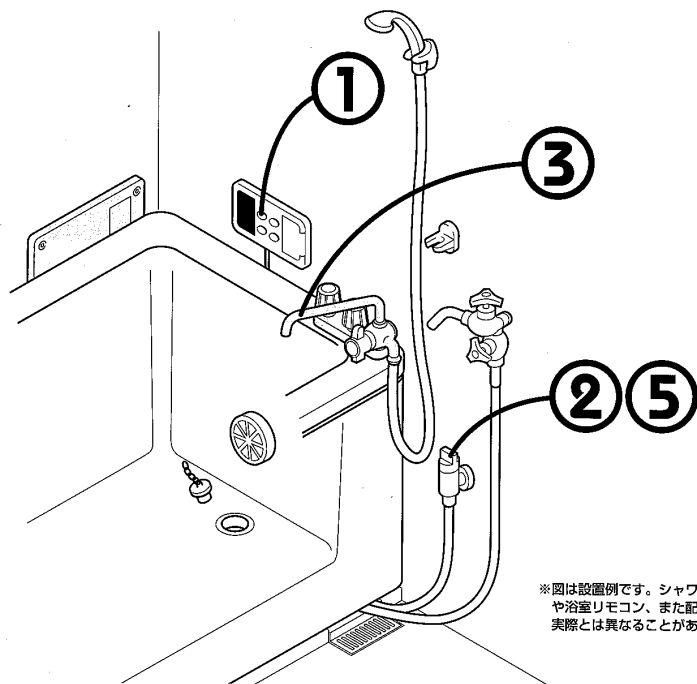
お願い

冷え込みが厳しいとき (気温-15℃以下)

凍結予防

異常寒波などで冷え込みが厳しいときや停電などのときは機器や配管などが凍結することがありますので、「通常の寒さのとき」の処置に加えて下記の処置をお取りください。但し、浴槽の残り湯は抜き、排水栓は開けたままにしてください。

給湯栓から水を流す凍結予防



※図は設置例です。シャワーセットや浴室リモコン、また配管などが実際とは異なることがあります。

注意



高温注意

やけどに注意

- 風呂使用後すぐの場合熱いお湯が出る場合があります。

① リモコンの **運転** を「切」にする。

② ガス栓を閉じる。
右いっぱいに戻します。

③ シャワーセットの出湯管より浴槽に水を流す。

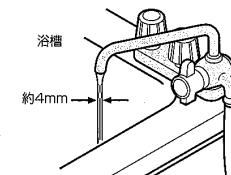
1分間に200ミリリットル（牛乳ビン1本位）の水を浴槽に流し込みます。

※浴槽の排水栓を閉めた状態で行うと、浴槽から水があふれることがあります。

※シャワーから水を流す場合は、シャワーヘッドを浴槽内に落ち込まないような位置で固定してください。

シャワーセットの使用方法については…

☐P15-16「シャワーセット」



④ 流量（水の出具合）が不安定になることがあるので、約30分後にもう一度流量（水の出具合）を確認する。

凍結のおそれなくなるまで水を流し続けてください。

⑤ 再び使用するときはガス栓を開ける。

お願い

凍結予防

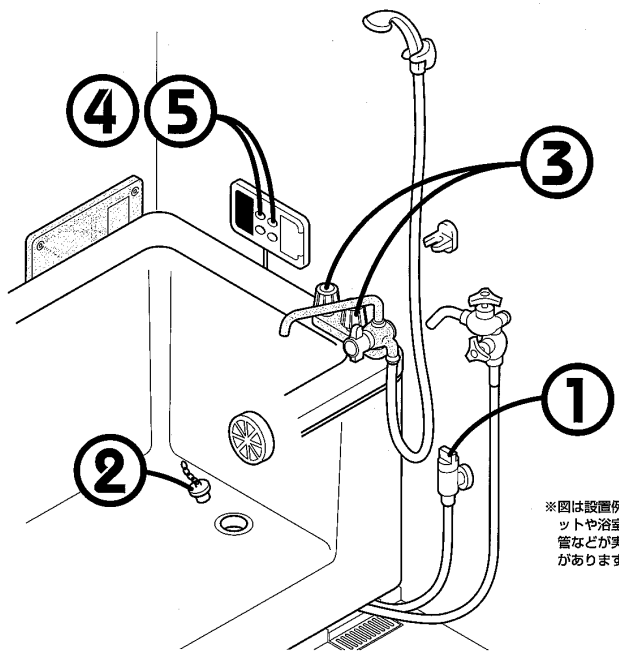
- 浴槽の水を抜いてください。
- 漏電ブレーカーをコンセントから抜いたり、配電盤のブレーカーを「切」にしただりしないでください。
☐P17「初めて使うとき」
- この方法でも凍結するおそれのあるときは、P47-49「長期間使用しないとき/水抜きによる凍結予防」の処置をしてください。

長期間使用しないとき

凍結予防

この方法は、機器内と配管内にたまった水を抜くことで凍結を予防します。給湯・風呂使用後は、給湯器内のお湯が高温になっていますので機器が冷めてから行ってください。

水抜きによる凍結予防



※図は設置例です。シャワーセットや浴室リモコン、また配管などが実際とは異なることがあります。

注意



高温注意

やけどに注意

●出湯管やシャワー、水抜きバルブから高温のお湯が出ることがありますので、ご注意ください。

① ガス栓・給水元栓を閉じる。

右いっぱいに戻します。

② 浴槽の排水栓を抜き、浴槽を空にする。

③ 全ての給湯栓とシャワーセットの給水栓を全開にする。

配管内に残った水をすべて出してください。

シャワーセットの使用方法については…

▶▶ P15-16 「シャワーセット」

④ 運転を「入」にし、浴室リモコンの「おいたき」を押して、空運転を行う。

このまま放置するとリモコンにエラー表示が点灯しますが故障ではありません。

運転を「切」にし、再度「入」にすると、エラーが解除されます。

この操作を浴槽の循環アダプターから水が出なくなるまで繰り返してください。

⑤ 運転を「切」にする。

再び使用するまでそのままの状態にしておく。

漏電ブレーカーをコンセントから抜いたり、配電盤のブレーカーを「切」にしたりしないでください。

お願い

水抜きしたあとは

●水抜きをした後は、浴槽に水をはららないでください。循環アダプターから水が逆流し、水抜き栓からの水漏れや機器の凍結の原因となります。

長期間使用しないとき

凍結予防

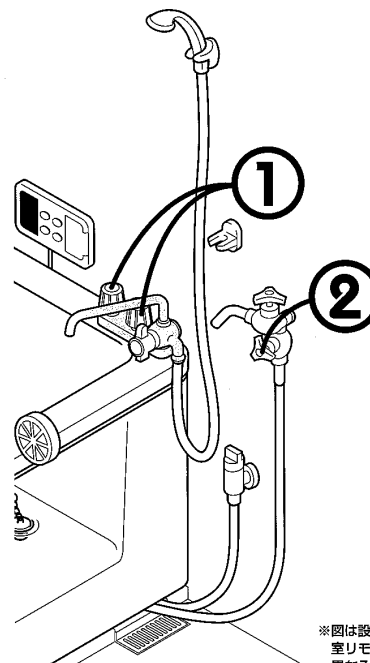
凍結したときの処置

- 凍結すると機器は使用できません。
- ガス栓・給水元栓を閉じ、リモコンの (凍結) を「切」にし、給湯栓を開けて、解凍するのを待ってください。
- 給水元栓を開け、給湯栓を操作して正常に水が出るようになれば、給湯することができます。
- 特に寒い場合など、給湯が可能であっても、風呂配管が凍結している可能性があります。浴槽への最初のお湯は、出湯管から行ってください。
- 水が出るようになって、機器や配管から水漏れがないかよく確認してから使用してください。階下をぬらすと、近隣に迷惑をかけるだけでなく、多大な修理・補修費用がかかります。これらの費用はお客様の負担となります。水漏れなど異常に気づいたときは…
□ P4 「異常時の処置」
- 解凍が不十分な状態で (凍結) や (警告) を押すと、リモコンにエラー表示「502」や「661」が点灯することがあります。こんなときは解凍するのを待って P56 「エラー表示」の処置をしてください。

再び使用するとき

凍結予防

冬期に長期間使用しなかった場合には、以下の手順で使用を再開してください。機器本体および配管などが凍結している可能性のある場合には、P49 「凍結したときの処置」をご覧ください。



- ① 全ての給湯栓とシャワーセットの給水栓を閉じる。

シャワーセットの使用方法については…

□ P15-16 「シャワーセット」

- ② 給水元栓の水抜き栓が閉じていることを確認する。

- ③ P17 「初めて使うとき」にしたがう。

※図は設置例です。シャワーセットや浴室リモコン、また配管などが実際とは異なることがあります。

お願い

再び使用するときの注意

- 給水元栓の水抜き栓などは元通り確実に閉じてください。閉じかたが不十分であったり、閉じ忘れたりするとそこから水漏れします。
- 凍結などによる水漏れで壁を汚したり、階下をぬらした場合は修理・補修費用はお客様の負担となります。
- 長期間使用しなかった場合、現在時刻・お知らせ音の音量は再セットしてください。
□ P18 「時計を合わせる」
□ P41-42 「音声やメロディの大きさを定める」

点検のポイントとお手入れ

点検・お手入れ

安全にお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行ってください。
機器などのお手入れは機器が冷めてから行ってください。

日常の点検

点検のポイントー機器周辺の状態

- 機器のまわりおよび排気口のそばに燃えやすい物はありませんか？
- 排気口や給気口をなにかがふさいでいませんか？詳しくは・・・
□ P3 「火災・爆発予防のために」
- 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか？
- 漏電ブレーカーは正しく作動しますか？月1に回程度、作動確認してください。
□ P14 「作動確認をしてください」

点検のポイントー機器の状態

- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 機器および配管からガスの臭気はありませんか？
- 運転中に機器から異常燃焼（点火時や使用時にゴーと音がするような燃焼）や異常音は聞こえますか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？
- 万一異常を感じたときは・・・
□ P2 「ガス漏れ時の処置」
□ P4 「異常時の処置」

お願い

機器が古くなると

- 機器が古くなると、熱交換器やバーナーに錆やスス・ほこりなどが詰まったりします。また、取付場所によりバーナーにクモの巣がはることがあります。こんなときは機器が不完全燃焼を起こすことがあります。より安全にお使いいただくために、定期的に（年に一回程度）点検を受けていただくことをおすすめします。
□ P58 「サービスを依頼されるとき」
- 万一使用中に異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなどの異常に気づいたときは・・・
□ P4 「異常時の処置」

日常のお手入れ

機器とリモコンのお手入れ

- 機器本体のお手入れは特に必要ありません。機器の汚れがひどいときや、リモコンの画面を掃除するときに水にぬらした柔らかい布を固くしぼって軽くふき取ってください。
台所リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因となります。
□ P9 「お手入れの際の注意」

給湯栓のお手入れ（給湯配管されているお宅）

- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものは、ときどき内部フィルターを掃除してください。
詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

循環フィルターのお手入れ

- 循環フィルターは定期的（月2～4回）に掃除してください。

1 左に回して外す。



4 ▼マークを合わせてはめる。



2 循環フィルターを浴槽から取り外す。



5 差し込んで“カチッ”と止まるまで右に回す。



3 循環フィルター正面と側面の表裏面をブラシなどで掃除する。

（金属などの固いブラシは使わないでください）



お願い

循環フィルターのお手入れの後は・・・

- 循環フィルターは元通り確実に取り付けてください。フィルターが外れていたり、取り付け方が不十分な状態で使用すると機器故障の原因となります。
- 循環フィルター以外は外さないでください。
- これらを守らずに機器が故障したときの修理は、保証期間内でも有料です。

修理を依頼される前に

故障かな?と思ったら

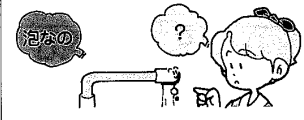
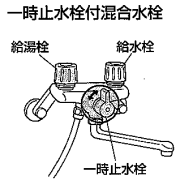
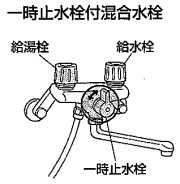
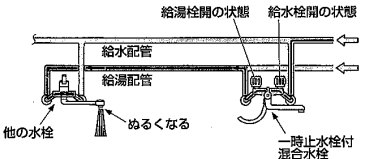
修理を依頼される前に次のことを確認してください。

こんなとき	確認してください	ご覧ください こうしてください
お湯にならない	●漏電ブレーカーはコンセントに差し込まれていますか?	📖P17「初めて使うとき」
	●ガス栓は全開になっていますか? ●リモコンの表示画面は点灯していますか? ●給湯栓をしぼりすぎていませんか?	📖P19-20「お湯を使う」
	●漏電ブレーカーの漏電ランプが点灯していませんか?	📖P14「もし、漏電ランプが点灯したら…」
	●ガスメーターの安全装置（マイコンメーター）のランプが点滅していませんか?	マイコンメーターの取扱説明書にもとづき、メーターを復帰させてください。 📖P56「エラー表示」
	●プロパンガス（LPG）がなくなっていますか?	プロパンガス（LPG）の補充をガス事業者（供給業者）に依頼してください。
お湯の出が悪い (給湯栓を開けても何も出ない)	●給水元栓は全開になっていますか?	📖P17「初めて使うとき」
	●配管内に空気が残っていませんか? (始めて使うとき、断水、水抜き後など)	給湯栓の「開・閉」操作を2～3回くり返してください。
	●給湯栓の先端にあるフィルターにゴミが詰まっていますか?	水栓の取扱説明書にもとづき、フィルターの掃除をしてください。
	●断水していませんか? ●凍結していませんか?	復帰するのをお待ちください。 📖P49「凍結したときの処置」
リモコンで給湯温度の変更ができない	●操作したい側のリモコンに優先表示が点灯していますか?	📖P23「優先スイッチの使いかた」
適温のお湯にならない	●リモコンの給湯温度はお好みの温度に設定されていますか?	📖P21-22「給湯温度を変える」
	●リモコンの給湯温度が低めになっていませんか（サーモスタート式水栓をご使用の場合）	ご希望の温度より高めに設定してください。 📖P8「水栓について」
	●水温が高いときに、給湯温度を低く設定していませんか?	📖P4「お湯を使うときはやけどに注意」
設定したふろ温度にならない	●循環フィルターはきちんと取り付けられていますか?ゴミが詰まっていますか?	📖P52「循環フィルターのお手入れ」
おいだき運転ができない	●浴槽の循環アダプターより上に水が入っていますか?	浴槽の循環アダプターから5cm以上になるようにお湯を足してください。
設定したふろ水位にならない	●循環フィルターはきちんと取り付けられていますか?ゴミが詰まっていますか? ●ふろ水位を確認しましたか?	📖P52「循環フィルターのお手入れ」 📖P28「ふろ設定水位を変える」

こんな場合は故障ではありません





故障かな?と思ったら

次のような場合は故障ではありませんのでご安心ください。

こんなとき	こんな理由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出ない。	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。
お湯が白く濁って見える。 	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで、細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイターなどの泡と似た現象であり、汚濁とは違い全く無害のものです。
寒い日に排気口から白い湯気が出る。	冬期には、排気に含まれる水蒸気が冷やされることによって小さな水滴に変わり、白く見えることがあります。冬にはく息が白く見える現象と同じで異常ではありません。
給湯栓を急に閉じるとゴツンという音が出る。	水圧が高い地域で、水が急に止まるために発生する音です。ゆっくり操作してください。
給湯栓をしぼると水になる。	給湯栓をしぼりすぎると（1分間に約2.0リットル以下）水になります。
お湯にならない、またはリモコンの設定温度よりぬるいお湯が出る。(給湯配管されたお宅)	一時止水栓付の混合水栓を使用している場合や全自動洗濯機に混合水栓を接続しているお宅では、使用后、給湯栓・給水栓を閉めてください。 ●一時止水栓で止めたままにしたり、全自動洗濯機に接続してある水栓を開けたままにしておくと、他の水栓（洗面所や台所）でお湯を使うとき、水が給湯側に流れ込み、使用する水栓側がお湯にならなかったり、ぬるくなってしまうます。 一時止水栓付混合水栓 
 <p>一時止水栓付混合水栓</p> <p>給湯栓 給水栓</p> <p>一時止水栓</p> <p>*一時止水栓は使用中の一時止水のときのみご使用ください。</p>	 <p>給湯栓開の状態 給水栓開の状態</p> <p>給湯配管 給湯配管</p> <p>他の水栓 ぬるくなる 一時止水栓付混合水栓</p>

こんな場合は故障ではありません

故障かな?と思ったら

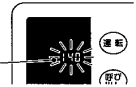
こんなとき	こんな理由
給湯栓を閉しても機器からしばらく音がする	次の使用にそなえて機器が準備をしているため、異常ではありません。
 や  、  、  を押すと機器から5~15秒音がする。	
お湯を使うと浴槽の循環アダプターから水が出る。	機器内の水が膨張して出てくるためか、過圧防止安全装置のはたらきによるもので、異常ではありません。 お湯を使うと、機器内にたまっている水が熱で膨張して浴槽内に水が押し出されることがあります。また、給湯栓を閉じたときに機器内に高い圧力が生ずることがあり、このとき機器を保護するため過圧防止安全装置がはたらいて機器内にたまっている水を押し流し、浴槽内に水が流れ出ることがあります。
自動運転中に、浴槽の循環アダプターからの注湯が途中で停止する。	機器が湯量を計算しているため、異常ではありません。
お風呂を沸かし中にふる燃焼表示が点滅したり音がしたりする。(燃焼に伴う音がする)	機器が湯温調節しているため、異常ではありません。
給湯温度や湯量(お湯の出具合)が一時的に変化する。	2カ所でお湯を使用したり、追いだきと同時に使用すると、給湯温度や湯量(お湯の出具合)が変化することがあります。
お風呂を沸かすのに時間がかかる。	浴槽に残り湯がある状態で自動運転やおいだし運転を行うと、浴槽が空のときと比べてお風呂を沸かすのに時間がかかる場合があります。給湯能力よりおいだし能力のほうが低いためであり、異常ではありません。(浴槽の湯温が低いほど時間がかかります)







エラー表示

故障かな?と思ったら

機器や使用方法に不具合があったときは、自動的に燃焼運転を停止し、リモコンの表示画面の時刻表示部にエラー表示が点滅します。(リモコンの運転スイッチも緑に点滅します)

例: 140



こんなとき	こうしてください
002	機器が浴槽の大きさを記憶できませんでした。  を一度切り、浴槽をカラにしてください。その後、  を「入」にし、もう一度自動運転をしてください。
032 252	浴槽の排水栓を閉め忘れていないか確認してください。排水栓をきちんと閉じてから、リモコンの  を一度切り、もう一度「入」にしてから操作してください。
110 120	ガス栓が全開になっているか確認してください。ガス栓を開いたらリモコンの  を一度切り、もう一度「入」にしてから操作してください。 ガスメーターにあるマイコンメーターのランプが点滅していないか確認してください。 ●ランプが点滅しているとき ・マイコンメーターの取扱説明書にもとづき、マイコンメーターを復帰させてください。それでもなおランプが点滅するときはガス事業者(供給業者)へご連絡ください。 ●ランプが消えているとき ・下記のところへ機器の修理を依頼してください。
502	断水していないかまたは給水元栓が閉じていないか確認してください。断水しているときは、復帰するまでお待ちください。給水元栓が閉じているときは…  P17「初めて使うとき」
140 321 520 710 161 331 610 720 190 350 632 900 312 432 661	リモコンの  を一度切り、5分ほどしてからもう一度「入」にし、操作してください。
上記の操作をしてもなおエラー表示が出るときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ修理を依頼してください。	

こんなとき	こうしてください
100 エラー表示と給湯温度が交互に点滅します。	機器の給排気に異常が生じているため、使用中十分な給湯能力が出ないなど不具合が生じることがあります。なるべく早く下記のところへ修理を依頼してください。
990	燃焼に異常が生じているため使用できません。下記のところへ修理を依頼してください。
上記の操作をしてもなおエラー表示が出るときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ修理を依頼してください。	

*リモコンの故障などの場合は、表示画面が点灯しなくなりますが、お湯を使うことはできるようになっています。ただしこの場合、約50℃の高温のお湯が出ますので、使用には十分ご注意ください。

仕様

仕様

仕様表

分類名称	ガスふる給湯器バックイン	
品名	131-7059型	131-7069型
型式名	HOL-1670AQ	HOL-1670AQ-L
※※外形寸法図	幅291×奥行510×高さ404 (mm)	
製品質量	21.5kg	
接続口	ガス	15A (R1/2)
	給水・給湯	15A (G1/2B)
	ふる	13mm 循環ホース接続
※給湯能力	16～2.5号	
最低作動水圧	10kPa (0.102kgf/cm ²) (自動運転時39kPa (0.398kgf/cm ²))	
最低作動水量	2.5L/min	
希望水圧	78.5kPa (0.8kgf/cm ²) ～ 785kPa (8.0kgf/cm ²)	
電気関係	電源	AC100V (60Hz)
	※消費電力	177W (60Hz)
	点火方式	連続放電点火方式 (ダイレクト方式)
制御装置	ガス	ガス比例制御
	水	水量比例制御
電源コード長さ	8 m	
安全装置	立消え安全装置・空だき安全装置・空だき防止装置・停電時安全装置・過熱防止装置・漏電安全装置・過電流防止装置・過圧防止安全装置・ファン回転検出装置・沸騰防止装置	

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。

※※突出寸法は含みません。

能力表

使用ガス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量 kW (kcal/h)			出湯能力 (L/min)	
	最大	ふる	給湯	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
13A	43.6 (37,500)	※ 12.2 (10,500)	34.9 (30,000)	16.0	10.0
LPG	43.6 (37,500)	※ 12.2 (10,500)	34.9 (30,000)	16.0	10.0

●本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

●ガスはJISに規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。

●出湯能力は水温・水圧により多少異なります。

※ふるのガス消費量は最大値であり、平均値は10.5kW (9,000kcal/h) 程度となります。

アフターサービスについて

サービス

アフターサービスはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへお気軽にお申し付けください。

サービスを依頼される時

●まずP53の「修理を依頼される前に」、P54～55「こんな場合は故障ではありません」、P56「エラー表示」をご確認ください。なお異常のあるときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへお申し付けください。

☞別紙「大阪ガスのお問い合わせ先」

●アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。

- 1 お名前・ご住所・電話番号・道順 (近所の目印など)
- 2 品名 131-7059型 / 131-7069型 (機器前面に貼ってある品名ラベルでご確認ください) 例)
- 3 現象 (リモコン表示部の状態またはエラー表示番号などできるだけ詳しく)
- 4 訪問希望日・時



保証について

- 保証書は別添になっています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめになり、保証内容をよく読んでください。
- 保証期間経過後の故障については、修理により製品の機能が維持できる場合、ご希望により有料で修理いたします。

機器を移転するとき

- ガス種が異なる地域へ機器を移転されるときは機器の調整、改造が必要となります。販売店または転居先のごガス事業者 (供給業者) へご相談ください。ガス種によっては機器の改造ができないことがあります。
- 電源電圧が一致しないときは電気工事店へ電源電圧の変更を依頼してください。
- 増改築などのために機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要になりますので、必ず販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 移設、移転に伴う調整や工事の費用は有料です。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。足場などを組まなければ修理できないような高所には設置しないよう設置時に販売店にお願いしてください。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の修理用性能部品 (機能を維持するための必要な部品) の保有期間は、製造打ち切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有償修理いたします。